

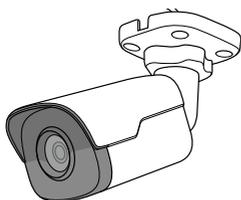
User's Manual

ユーザーズマニュアル

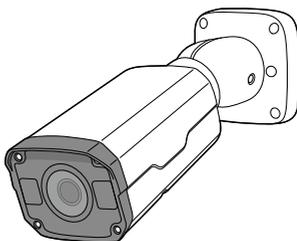
第7版
2020/10/15

ネットワークカメラ

固定焦点バレット型
SCB-EB2M01



電動可変焦点バレット型
SCB-EB2M02



固定焦点ドーム型
SCB-ED2M01



電動可変焦点ドーム型
SCB-ED2M02



全方位4Kネットワークカメラ
SCB-EF4K03



この度は、エレコムネットワークカメラをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
このマニュアルには本製品を使用するにあたっての詳細な設定方法が説明されています。
また、お客様が本製品を安全に扱っていただくための注意事項が記載されています。
詳細な設定を行う場合は、必ずこのマニュアルをお読みになってください。

もくじ

導入編	6
用語	7
このマニュアルで使われている用語	7
このマニュアルで使われている記号	7
このマニュアルをお読みになる前に	8
「はじめにお読みください」の主な内容	8
「セットアップガイド」の主な内容	8
本製品の概要	9
接続・設置方法	11
STEP 1 本製品を接続する	11
接続前の本体の準備	11
接続図	11
STEP 2 防水加工をする(屋外設置の場合など)	15
STEP 3 設置する	17
設置の前に	17
設置する場所の準備	18
microSDカードをセットする	19
カメラを壁または天井に固定する	24
管理画面について	31
ホーム画面	34
ツールメニュー	37
コントロールパネル	38
動作モードパネル・プレビューモードパネル	39
運用編	43
microSDカードにデータを保存する	44
録画を開始する	44
録画を停止する	46

スナップショット画像を保存する	47
映像を再生する	50
設定リファレンス編	56
Web 設定画面について	59
共通	60
基本情報	60
ローカル設定	61
ローカル設定	61
ネットワーク	63
時間	63
画面表示設定	63
ユーザー	63
ネットワーク	64
ネットワーク	64
DNS	65
ポート設定	66
ポート	66
ポートマッピング	67
DDNS	68
Eメール	69
SNMP	70
ビデオと音声	71
ビデオ	71
スナップショット	73
音声	74
ROI	75
メディアストリーム	76
メディアストリーム	76
RTSP マルチキャストアドレス	77

画像	78
画像.....	78
シーン設定ウィンドウ.....	79
画像補正設定ウィンドウ.....	81
露出設定ウィンドウ.....	82
スマート照明設定ウィンドウ.....	84
ホワイトバランス設定ウィンドウ.....	85
拡張設定ウィンドウ.....	86
画面表示設定.....	87
プライバシーマスク.....	88
イベント	89
標準アラーム.....	89
動体検知.....	89
タンパリング.....	95
音声検知.....	97
アラーム入力.....	99
アラーム出力.....	101
ストレージ	102
ストレージ.....	102
FTP.....	104
セキュリティ	105
ユーザー.....	105
ネットワークセキュリティ.....	106
HTTPS.....	106
認証方式.....	107
ARP 保護.....	108
IP アドレスフィルタリング.....	109
アクセス方式.....	110
ウォーターマーク.....	111

システム	112
時間	112
ポート&デバイス	113
メンテナンス	114

こんなときは 115

ファームウェアを更新したい	116
プラグインをインストールするメッセージが表示されない	117
管理画面にアクセスするパスワードを変更したい	118
ActiveXのインストールに失敗した場合	119
ネットワークカメラの映像に横縞(フリッカー)が出る	121
ライブ映像が表示されない	123
ネットワークレコーダーに接続しているカメラの Web 設定画面にアクセスしたい	124
魚眼カメラを「魚眼+ 4PTZ」に設定したとき、 PTZモードのカメラの映像が回転し続ける	126

付録編 127

安全上のご注意	128
使用上のご注意	131
設置上のご注意	134
このマニュアルについて	136
動作環境	137
パソコンのIPアドレスの確認方法	138
Windows 10の場合	138
製品の保証について	140
製品の保証とサービス	140
サポートサービスについて	141

導入編

用語	7
このマニュアルで使われている用語	7
このマニュアルで使われている記号	7
このマニュアルをお読みになる前に	8
「はじめにお読みください」の主な内容	8
「セットアップガイド」の主な内容	8
本製品の概要	9
接続・設置方法	11
STEP 1 本製品を接続する	11
接続前の本体の準備	11
接続図	11
STEP 2 防水加工をする(屋外設置の場合など)	15
STEP 3 設置する	17
設置の前に	17
設置する場所の準備	18
microSDカードをセットする	19
カメラを壁または天井に固定する	24
管理画面について	31
ホーム画面	34
ツールメニュー	37
コントロールパネル	38
動作モードパネル・プレビューモードパネル	39

このマニュアルで使われている用語

このマニュアルでは、一部の表記を除いて以下の用語を使用しています。

用語	意味
本製品	ネットワークカメラ [SCB-EB2M01、SCB-EB2M02、SCB-ED2M01、SCB-ED2M02、SCB-EF4K03] を称して「本製品」と表記しています。

- 本マニュアルは、以下のファームウェアバージョンの製品を基に記載しています。

製品	ファームウェアバージョン
固定焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M01)	Ver.IPC_G6103-B0010P10D1806C50
電動可変焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M02)	
固定焦点ドーム型 (SCB-ED2M01)	
電動可変焦点ドーム型カメラ (SCB-ED2M02)	
全方位 4K ネットワークカメラ (SCB-EF4K03)	Ver.IPC_Q1203-B0006P10D1806C50

このマニュアルで使われている記号

記号	意味
重要	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明しています。この注意事項を守らないと、故障の原因になることがあります。注意してください。
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。

このマニュアルをお読みになる前に

本製品には、印刷物で「はじめにお読みください」と「セットアップガイド」の2つのマニュアルが付属しています。

各マニュアルには、以下の内容が記載されています。

該当する内容がありましたら、そちらをお読みください。

※ マニュアルの改訂により、内容の一部が変更される場合があります。

「はじめにお読みください」の主な内容

- 箱の中身を確認してください
- 各部の名称とはたらき
- おもな仕様
- 安全にお使いいただくために
- 使用上の注意
- 設置上の注意
- サポートサービスについて
- 修理について
- 保証規定

「セットアップガイド」の主な内容

- 本製品の特徴
- 工場出荷時の状態に戻すときは
- 本製品の接続方法
- 設置方法

MEMO

印刷物のマニュアルが見当たらない場合には

エレコム・ホームページより、最新のPDF版をダウンロードすることができます。

本製品の概要

本製品は、ELECOM 製ネットワークレコーダーの自動カメラ登録機能に対応したネットワークカメラです。

本製品とELECOM 製ネットワークレコーダーを接続することで、すぐに利用いただくことが可能です。

●H.265対応

従来の約2倍録画可能なH.265に対応し、より長時間録画が可能です。(H.264との比較)

●PoE対応

全機種PoE (Power over Ethernet)に対応。電源を敷設しにくい場所にも設置が可能です。

●F1.6レンズ(対応機種のみ^{*1})

少ない光量しかない薄暗い場所でも鮮明な撮影が可能な明るいレンズ (F1.6) を採用しています。

●防水防塵タイプ(対応機種のみ^{*2})

保護等級IP67に適合した防水防塵タイプで、屋外での撮影も可能です。

●耐衝撃性能(対応機種のみ^{*3})

保護等級IK10に適合した耐衝撃性能を備え、優れた防犯性能を有しています。

●CMOSセンサー

高画質CMOSセンサーを搭載し、高精細なFull HD映像を撮影可能です。

●デイ/ナイトモード

カメラレンズの周囲に赤外線LEDを配置し、夜間や暗い場所でも被写体をクリアに撮影できるデイ/ナイトモードを搭載しています。(0ルクスでもIR照射範囲であれば、撮影可能です。)

デイ/ナイトモードは、周囲の明るさを感知して自動的に切り替わります。(手動でのデイ/ナイトの固定も設定可能)

●動体検知録画対応

常時録画のほかに、撮影映像に動きがあった場合に自動で録画を開始する動体検知録画に対応しています。

●ネットワークレコーダーのモニターからも設定可能

カメラの設定はネットワークレコーダーに繋がるモニター画面からも簡単に変更可能です。

●microSDカードスロット(対応機種のみ^{※4})

本体にmicroSDカードスロットを搭載し、microSD/microSDHC/microSDXCメモリーカードを挿入することで録画映像を保存可能です。(補助的な録画先としてのみお使いいただけます。)

※1 F1.6レンズは以下の機種で採用しています。

SCB-EB2M01、SCB-EB2M02、SCB-ED2M02

※2 保護等級IP67は以下の機種が対応しています。

SCB-EB2M01、SCB-EB2M02、SCB-ED2M01、SCB-ED2M02

※3 耐衝撃性能(保護等級IK10)は以下の機種が対応しています。

SCB-ED2M01、SCB-ED2M02、SCB-EF4K03

※4 microSDカードスロットは以下の機種に搭載しています。

SCB-EB2M02、SCB-ED2M01、SCB-ED2M02、SCB-EF4K03

接続・設置方法

STEP 1 本製品を接続する

■ 接続前の本体の準備

● 静電気の除去

本製品に触れる前には必ずアース等に触れて静電気を除去してください。

● 必要な周辺機器やケーブルなどを準備の上、システム機器の電源は切ってください。

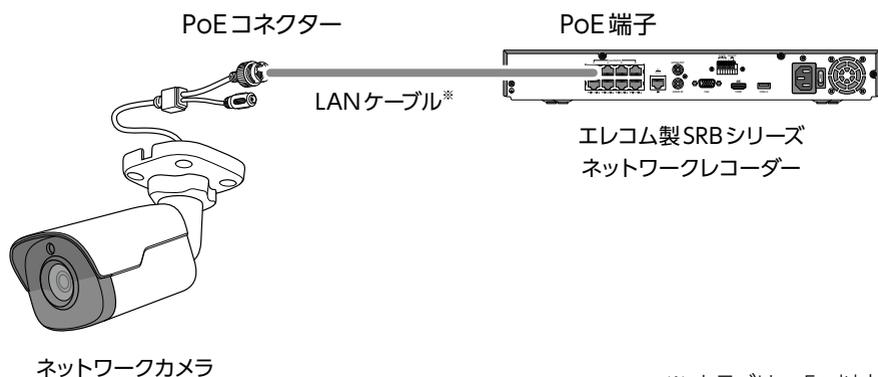
■ 接続図

本カメラの設置工事を始める前に、監視カメラシステム全体の構成を確認してください。

ネットワークレコーダー(エレコム製SRBシリーズ)のPoE端子に接続してしばらくすると、ネットワークレコーダーに接続したモニターに映像が表示されますので、ご確認ください。

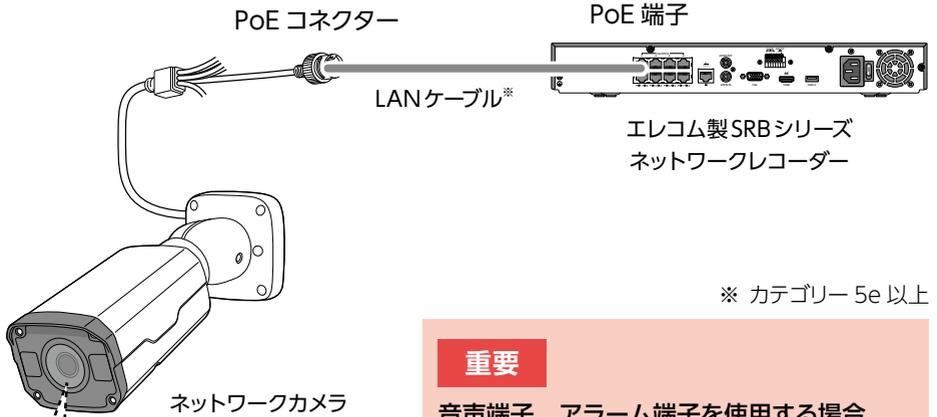
● ネットワークレコーダー管理画面については、ネットワークレコーダーのユーザズマニュアルをご覧ください。

SCB-EB2M01の場合



※ カテゴリー 5e 以上

SCB-EB2M02の場合



※ カテゴリー 5e 以上

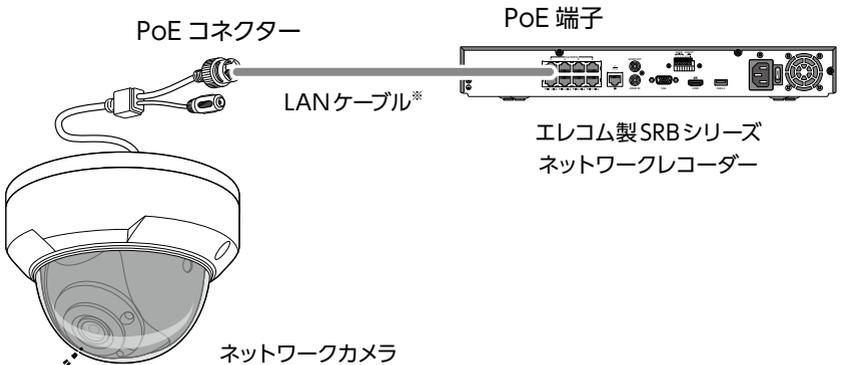
重要

音声端子、アラーム端子を使用する場合

- コネクタのゆるみ防止としてテープを巻くなどの処置をしてください。
- 屋外で使用する場合は、音声端子、アラーム端子に適切な防水処理を施してください。

出荷時は保護フィルムが貼り付けられていますので、使用するときははがしてください。

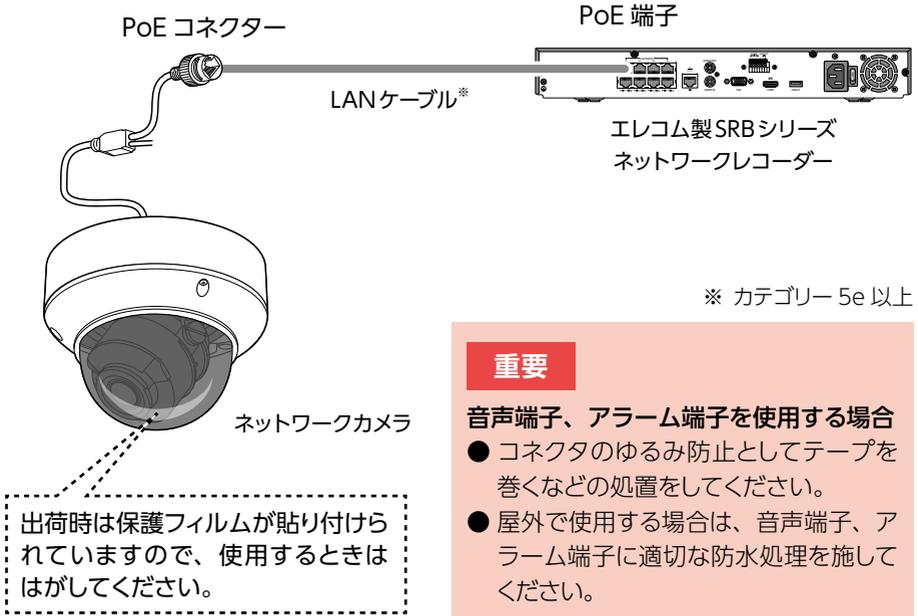
SCB-ED2M01の場合



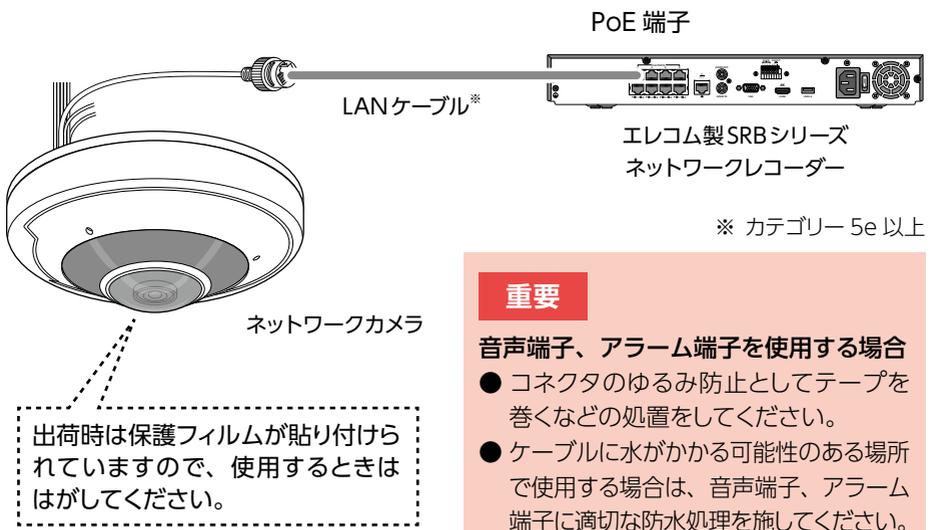
出荷時は保護フィルムが貼り付けられていますので、使用するときははがしてください。

※ カテゴリー 5e 以上

SCB-ED2M02の場合



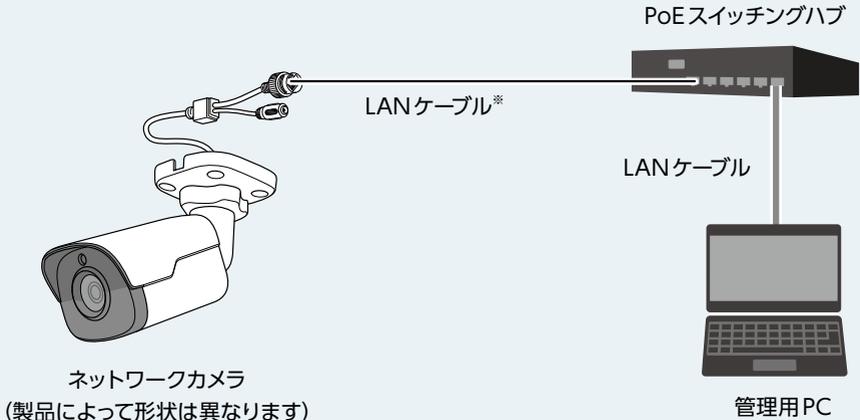
SCB-EF4K03の場合



MEMO

カメラ単独で使用する場合は

ネットワークレコーダーに接続しない場合は以下のように接続します。



※ カテゴリー 5e 以上

PoE 対応スイッチングハブについて

- PoE 対応スイッチングハブにLANケーブルをすばやく抜き差しすると、本製品に電源が供給されない場合があります。再接続する際には2秒以上間隔を空けてください。
- PoE 電源容量は製品の最大電力値*を確保してください。
- ELECOM 製品のPoE 対応スイッチングハブ (EHB-UG2B08-PL2) で動作を確認しています。PoE 対応スイッチングハブにはこの製品か、同等の電力を供給できる製品をご利用ください。

※ ネットワークカメラの最大電力値

SCB-EB2M01 : 7.6W

SCB-EB2M02 : 13.9W

SCB-ED2M01 : 5.2W

SCB-ED2M02 : 11.0W

SCB-EF4K03 : 12.8W

STEP 2 防水加工をする(屋外設置の場合など)

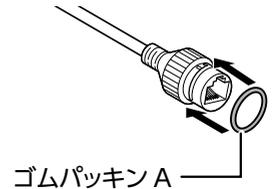
ケーブルに水がかかる可能性がある場所に設置する場合には、必ず防水加工をお願いします

本製品とLANケーブルの接続部に付属の防水対策用部品セットを以下のように取り付けてください。

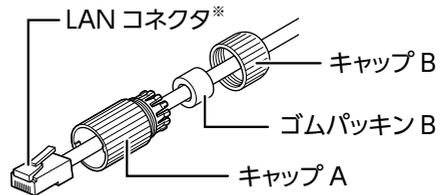
重要

屋外などケーブルに水のかかる可能性がある場所に設置する場合には、使用しない端子やケーブルを融着テープやビニールテープなどで防水加工してください。

- 1 本製品のPoEコネクタに防水対策用部品セットのゴムパッキンAを取り付けます。

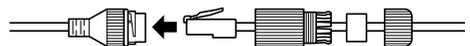


- 2 LANケーブルに以下の順番で部品を通した後、LANコネクタを取り付けます。

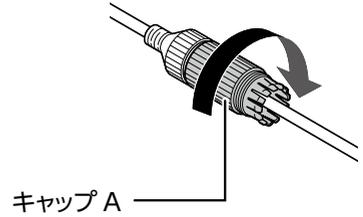


※ツメ折れ防止機能の付いたLANコネクタや極細ケーブルのような特殊な部品には対応しておりません。

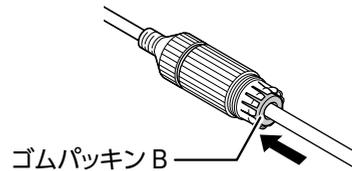
- 3 LANケーブルをPoEコネクタに接続します。



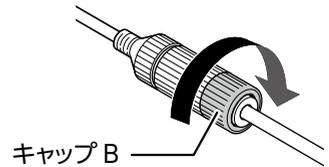
- 4** キャップAを時計回りに回してPoEコネクタに固定します。



- 5** ゴムパッキンBをキャップAに奥まで押し込みます。



- 6** キャップBを時計回りに回してキャップAに固定します。



- 7** 接続部に融着テープ(市販品)を巻いて防水処理をします。

STEP 3 設置する

■ 設置の前に

カメラを取り付ける前に以下の内容について確認してください。録画などカメラの設定が完了してから設置をお願いします。

(別紙「はじめにお読みください」の「設置上の注意」の内容も必ずお読みください)

- カメラの総重量や振動、不随する部品の総重量などに十分に耐えられる強度がある場所を確保してください。やむを得ず強度が不十分な場所へ取り付ける場合は十分な補強を施してください。
- LANケーブルなど必要なケーブルをカメラ設置場所まで配線します。
- 金属製または木製の壁や天井などに取り付ける場合
 - ・ カメラを取り付けた後のカメラの向きを確認してください。
 - ・ 万が一カメラが落下した際に害がない位置に取り付けているのかどうかを確認してください。
 - ・ 安定した位置にカメラの固定ネジが取り付けられるかどうかを確認してください。
- その他の壁や天井に取り付ける場合
金属または木製のボード (例えばモルタルや石膏ボード) については十分な補強を施して設置してください。

重要

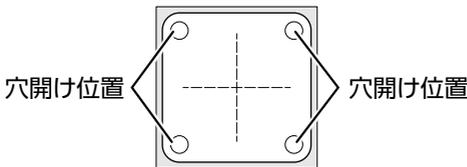
- けが防止のため、必ず手袋を着用して作業を行ってください。
- microSDカードへの録画を利用する場合、設置はmicroSDカードの挿入後に行ってください。(microSDカード搭載モデルのみ)
- ネジ類は必ず添付のものを使用してください。

■ 設置する場所の準備

同梱のフットプリントシールを使用してカメラを設置する場所を準備します。

- 1 カメラを設置する場所・向きを決め、フットプリントシールを貼ります。

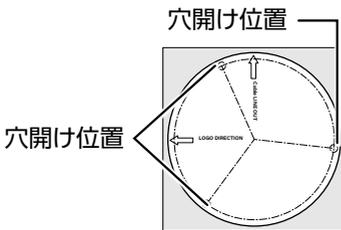
SCB-EB2M01、SCB-EB2M02の場合



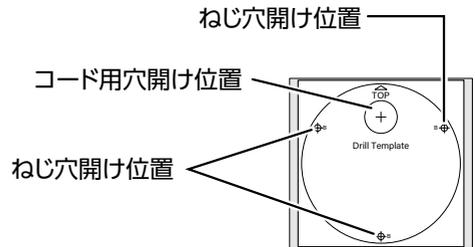
SCB-ED2M01の場合



SCB-ED2M02の場合



SCB-EF4K03の場合



- 2 フットプリントシールに従って、設置場所に穴を開けます。
これで設置場所の準備は完了です。

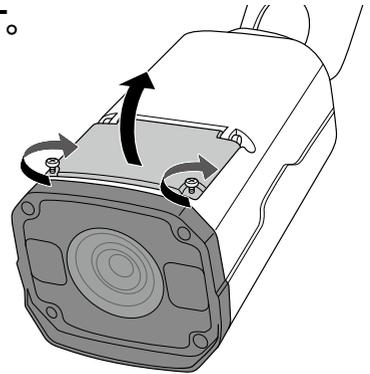
■ microSD カードをセットする

microSD カードは本体を設置する前にセットしてください。

- 本製品はmicroSDカードのホットスワップに対応しておりません。
- microSDカードを交換する場合は、いったん本製品のLANケーブルをはずして電源を切ったうえで交換してください。
- 交換後は、もう一度LANケーブルを接続してカメラの起動を確認してから、管理画面上でmicroSDカードのフォーマットを実行してください。

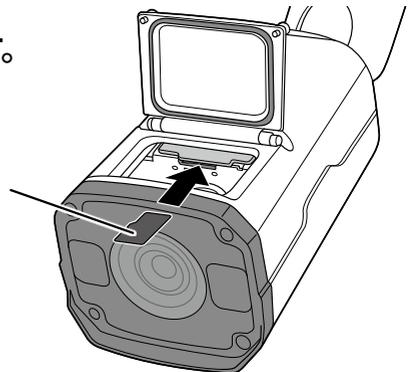
SCB-EB2M02の場合

- 1 2本のネジをゆるめ、フタを開けます。



- 2 microSDカードを図の向きでmicroSDスロットにセットします。

端子面を上にして
セットします。



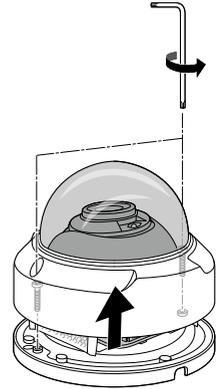
- 3 フタを閉めてネジで固定します。

重要

フタのねじはきつく締めすぎないようにご注意ください。電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。

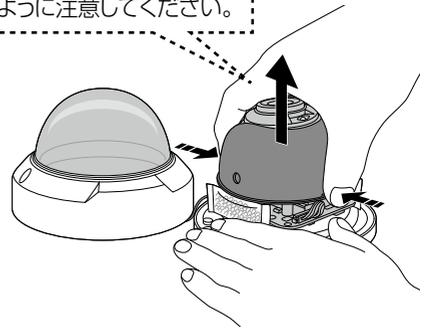
SCB-ED2M01の場合

- 1 付属のトルクスレンチでドームカバーのネジを2箇所ゆるめて外します。



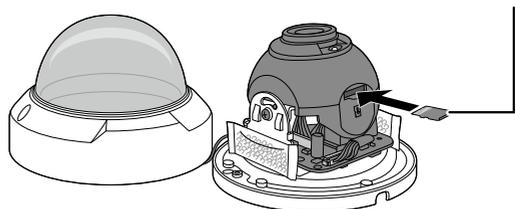
- 2 カメラカバーを持ち上げて外します。

外すときにレンズを触らないように注意してください。

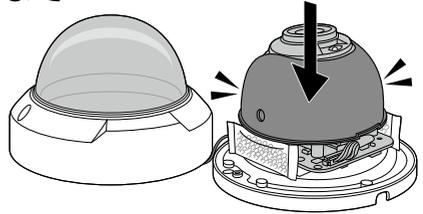


- 3 microSD カードをセットします。

端子面をレンズ側に向けてセットします。



- 4** カメラカバーをカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。

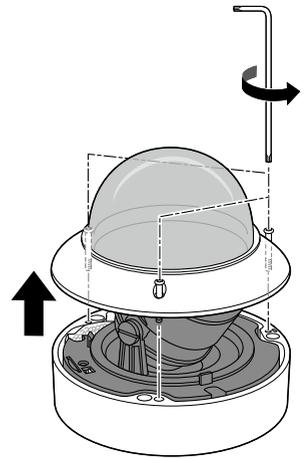


ドームカバーは外したままの状態での設置の手順に進みます。

→ [27ページ](#)

SCB-ED2M02の場合

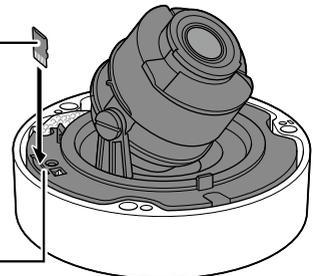
- 1** 付属のトルクスレンチでドームカバーのネジをゆるめ、ドームカバーを外します。



- 2** microSDカードを図の向きでmicroSDスロットにセットします。

端子面を外側に
向けてセットします。

microSD スロット



ドームカバーは外したままの状態での設置の手順に進みます。

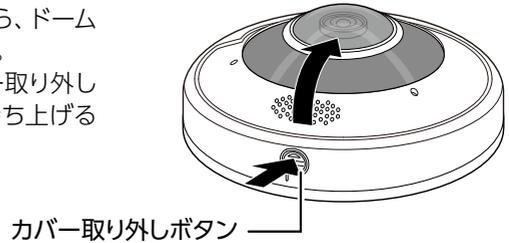
→ [28ページ](#)

SCB-EF4K03の場合

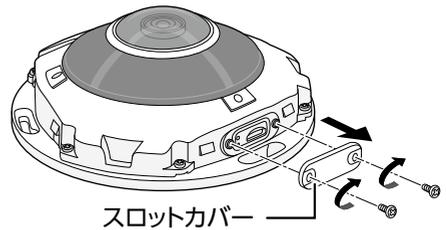
1 ドームカバーを外します。

カバー取り外しボタンを押しながら、ドームカバーを図の方向に取り外します。

- 製品本体を押さえながらカバー取り外しボタンを押し、カバーのみを持ち上げるようにして取り外してください。

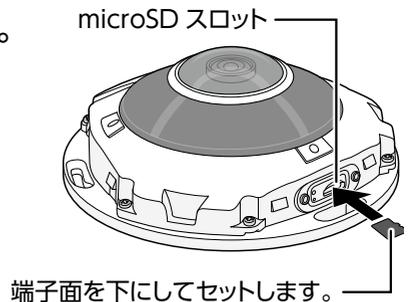


2 スロットカバーを外します。



- 本体側にパッキンが取り付けられています。スロットカバーを外すときにはご注意ください。
- スロットカバーを取り付けるときには、パッキンをカメラ側のパッキン用の溝に合わせて取り付けしてから、スロットカバーを取り付けてください。

3 microSDカードを図の向きでmicroSDスロットにセットします。



4 スロットカバーを取り付けます。

スロットカバー取り付けネジの締め付けトルク：
 約 $0.44\text{N}\cdot\text{m}$ (約 $4.5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

ドームカバーは外したままの状態での設置の手順に進みます。

[→ 30 ページ](#)

■ カメラを壁または天井に固定する

重要

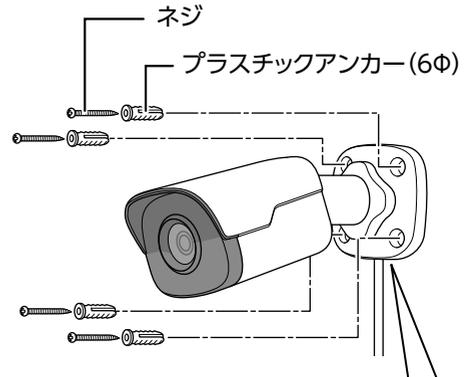
カメラを設置するには以下の内容に注意してください。
 設置にあたり、危険な状態が予想される場合は、ただちに作業を中止し、必ず安全を優先した対応を行ってください。

- 故障の原因となるため、製品のカバーをはずした際や設置の際は、静電気に十分注意して取り付けてください。
- 製品に酸やアルカリが付着しないよう注意してください。付着した場合は、速やかにふき取ってください。
- ほこりが付着した際は、眼鏡ふきのような柔らかい布でレンズに傷をつけないように注意してふき取ってください。
- ドームカバーの保護ビニールは、指紋などの付着防止のために、設置完了までつけたままにしてください。
- カメラを設置するときには、落下防止ケーブルなどで機器が地面に落下しないようにしてください。落下させると破損や故障の原因になります。また設置作業に必要な十分な場所の確保をしてください。

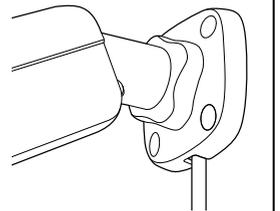
SCB-EB2M01の場合

1 カメラを付属の専用ネジとプラスチックアンカーで壁または天井に固定します。

取り付けには付属の設置用ネジキットまたは取り付ける場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。

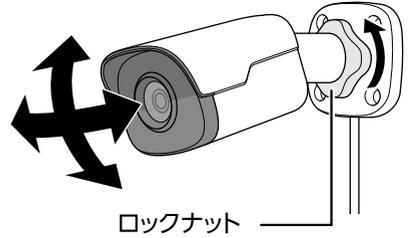


LAN ケーブルは台座のみぞに通すことができます。



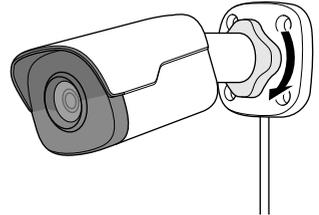
2 ロックナットを緩めて、カメラの向きを調整します。

管理用PCからカメラの画面を見ながら向きを調整できます。



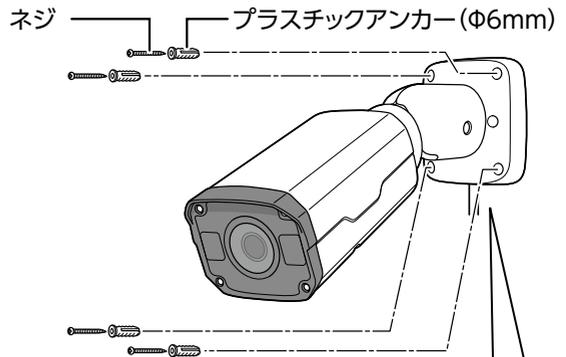
3 向きが決まったらロックナットを手でしっかりと締めて固定します。

締め付けすぎによる破損の恐れがあるため、ロックナットの締め付けにはモンキーレンチなどの工具は使用しないでください。

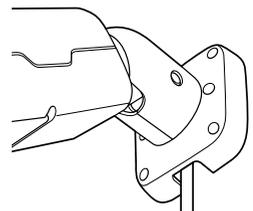


SCB-EB2M02の場合

1 カメラを付属の専用ネジとプラスチックアンカーで壁または天井に固定します。

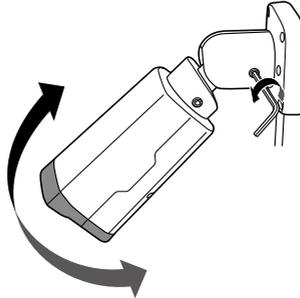


LAN ケーブルは台座のみぞに通すことができます。

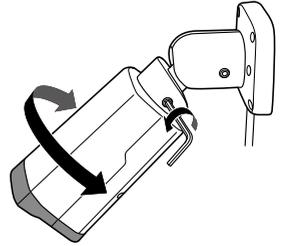


2 調整ボルトを付属のレンチで緩めて、
カメラの向きを調整します。

<縦方向の向き>



<縦方向の向き>

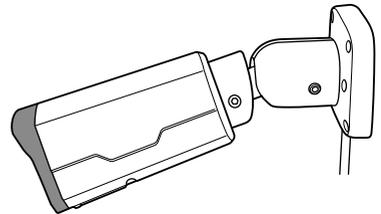


管理用 PC からカメラの画面を見ながら向きを調整できます。

MEMO

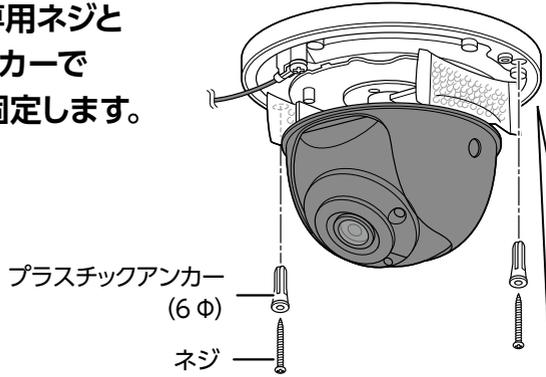
画角の調整は管理画面から行うことができます。
→ 38 ページ「[コントロールパネル](#)」

3 向きが決まったら調整ボルトを
締めて固定します。



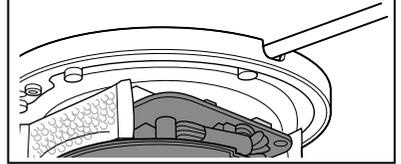
SCB-ED2M01 の場合

- 1** カメラを付属の専用ネジとプラスチックアンカーで壁または天井に固定します。



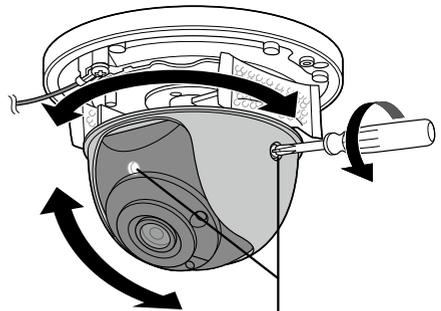
取り付けには付属の設置用ネジキットまたは取り付ける場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。

LAN ケーブルは台座のみぞに通すことができます。



- 2** 調整ネジを2箇所ゆるめて、カメラの向きを調整します。

カメラの向きを調整するときに力を入れすぎると、内部ケーブルにダメージを与える可能性がありますので、ご注意ください。



調整ネジ

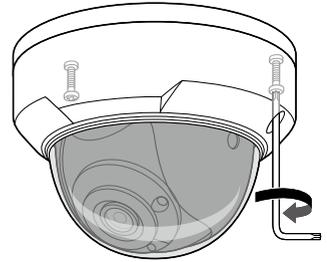
管理用 PC からカメラの画面を見ながら向きを調整できます。

3 向きが決まったら調整ネジを締めて固定します。

調整ねじはきつく締めすぎないようにご注意ください。電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。

4 ドームカバーを取り付けます。

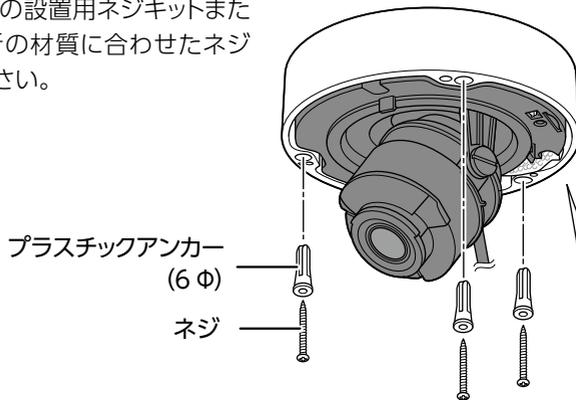
ドームカバー取り付けネジの締め付けトルク：
約1.77N・m(約18kgf・cm)



SCB-ED2M02の場合

1 カメラを付属の専用ネジとプラスチックアンカーで壁または天井に固定します。

取り付けには付属の設置用ネジキットまたは取り付ける場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。

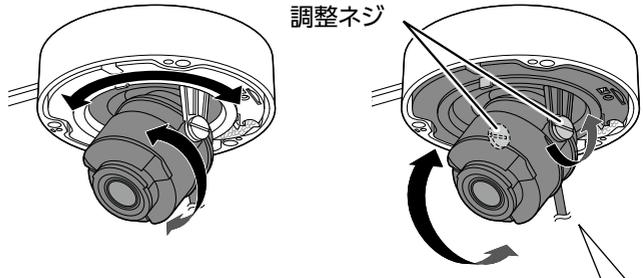


台座のボルトを外すと、みぞからLANケーブルを通すことができます。



2 カメラの向きを調整します。

管理用PCからカメラの画面を見ながら向きを調整できます。



カメラの仰角は調整ネジをコインなどでゆるめてから調整します。調整後は調整ネジを締めて固定してください。

重要

- カメラの向きを調整するときに力を入れすぎると、内部ケーブルにダメージを与える可能性がありますので、ご注意ください。
- 調整ねじはきつく締めすぎないようにご注意ください。電動ドライバーなどできつく締めすぎると、ネジ山がつぶれる原因となります。

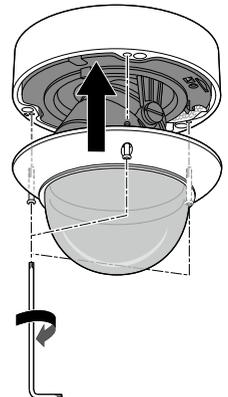
MEMO

画角の調整は管理画面から行うことができます。

→ 38ページ「コントロールパネル」

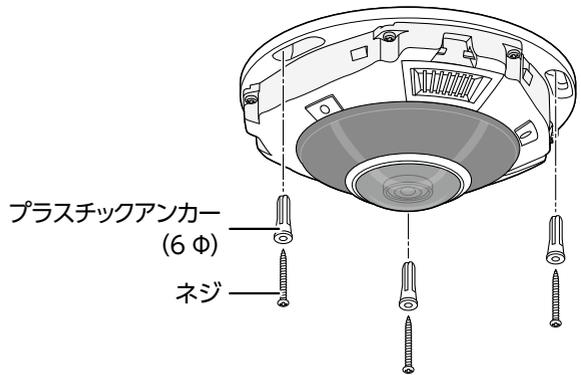
3 ドームカバーを取り付けます。

ドームカバー取り付けネジの締め付けトルク：
約 1.77N・m (約 18kgf・cm)



SCB-EF4K03の場合

- 1 カメラを付属の専用ネジとプラスチックアンカーで壁または天井に固定します。

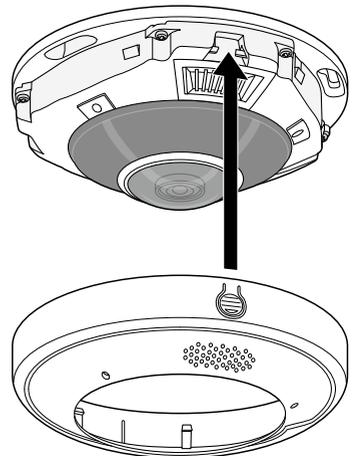


重要

取り付けには付属の設置用ネジキットまたは取り付ける場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。

- 2 ドームカバーを取り付けます。

カバー取り外しボタンを突起がある溝に合わせて取り付けます。



管理画面について

- 本製品をネットワークレコーダーに接続して使用する場合、カメラの設定は基本的にネットワークレコーダーの管理画面から行ってください。
- ネットワークレコーダーに接続しない場合や、ネットワークレコーダーでは設定できない一部機能 (microSD カード関連など) を利用する場合のみ、カメラの管理画面で設定してください。
- 本製品の管理画面は、LAN 経由でパソコン上のウェブブラウザからアクセスします。

重要

Web 設定画面で設定を保存した後、1 分以内にカメラの電源をオフ (LAN ケーブルを抜く) にしないでください。

変更した設定値が内部不揮発性メモリへ正しく保存されない場合があります。

Web 設定画面で「保存」のボタンを押すと、「パラメータの設定に成功しました」の表示が出て、設定内容は即時反映されますが、不揮発性メモリへの設定変更内容の書き込みは、その後約 1 分経過後に実行されます。

カメラの電源をオフにする (LAN ケーブルを抜く) 場合は、最後の設定変更を行ってから 1 分以上経過した後に実施してください。

1 管理用 PC の IP アドレスを以下に設定します。

IP アドレス : 192.168.1.1 ~ 192.168.1.255 (192.168.1.13 以外)

サブネットマスク : 255.255.255.0

MEMO

- パソコンの IP アドレスを固定する方法は下記の URL を参照してください。

http://qa.elecom.co.jp/faq_detail.html?id=6014

2 管理用PCでInternet Explorerを開き、以下のページを表示します。

<http://192.168.1.13>

MEMO

- ルーターなどDHCPサーバー機能がある機器を接続すると、「192.168.1.13」ではアクセスできなくなります。その場合は、ネットワークカメラに割り振られているIPアドレスを入力してアクセスしてください。
- 一度ネットワークカメラをSRBシリーズのネットワークレコーダーに接続すると、そのときに割り振られたIPアドレスは記憶されます。その後、ネットワークカメラをDHCPサーバーのあるネットワークに接続し直しても、最初にネットワークレコーダーから割り当てられたIPアドレス（172.16.0.2～99のいずれか^{*}）が保持されます。
- 一度SRBシリーズネットワークレコーダーに接続したネットワークカメラを他のSRBシリーズネットワークレコーダーに接続した場合は、新たにネットワークレコーダーからIPアドレスが割り当てられますので、手動でIPアドレスを変更する必要はありません。

^{*} ネットワークレコーダーのIPアドレス設定が工場出荷時の場合。
変更した場合は、ネットワークレコーダー設定画面の [システム] - [ネットワーク] - [TCP/IP] - [内部NIC IPv4アドレス] で設定したIPアドレスと同じセグメントのIPアドレスとなります。

3 ログイン画面が表示されたら、以下のユーザー名とパスワードを入力してログインします。

初期設定ユーザー名：admin

初期設定パスワード：123456

重要

初期設定のパスワードは非常に脆弱なものです。
ログイン後、パスワードは必ず初期設定のものから変更してください。
パスワードの変更方法は 118 ページを参照してください。

- 間違ったユーザー名・パスワードで5回連続ログインに失敗すると、その後正しいユーザー名・パスワードを入力しても、ログインが一時的に行えなくなります。
その場合は、約5分間待ってから再度ログインしてください。
ID/パスワード入力を間違った回数は表示されませんので、ご注意ください。

MEMO

[最新のプラグインをダウンロードしてインストールするには、・・・]という黄色い帯が表示されたら、クリックし、画面の案内に従ってプラグインをインストールしてください。

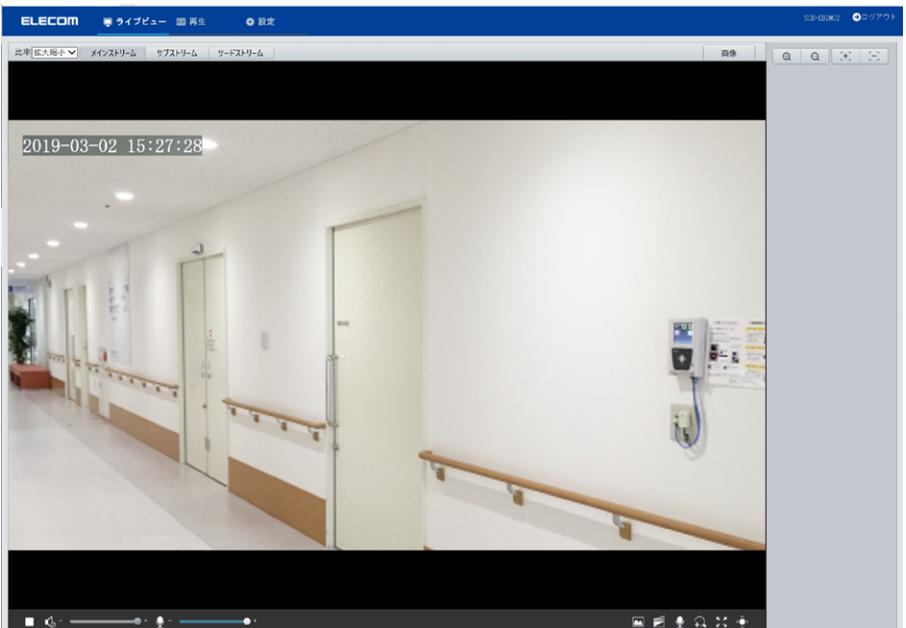


※ プラグインをインストールする際、ご利用の環境により文字化けしたエラーメッセージが表示される場合があります。

すでに古いバージョンの Surveillance Viewer がインストールされているため、このバージョンをインストールできません。
「コントロールパネル」の「アプリと機能」を使用してインストール済みの Surveillance Viewer を削除してください

このエラーメッセージが表示された場合は、ブラウザーをいったん閉じ、Surveillance Viewer プラグインを削除してから、再度ログイン・プラグインのインストールをお試しください。

ホーム画面が表示されます。



ホーム画面

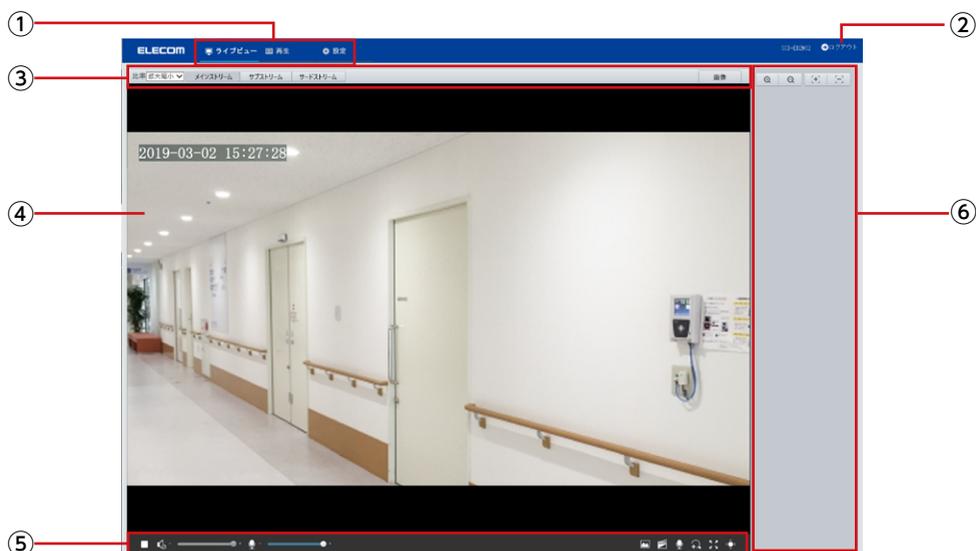
重要

本製品をネットワークレコーダーに接続して使用する場合、カメラの設定は基本的にネットワークレコーダーの管理画面から行ってください。

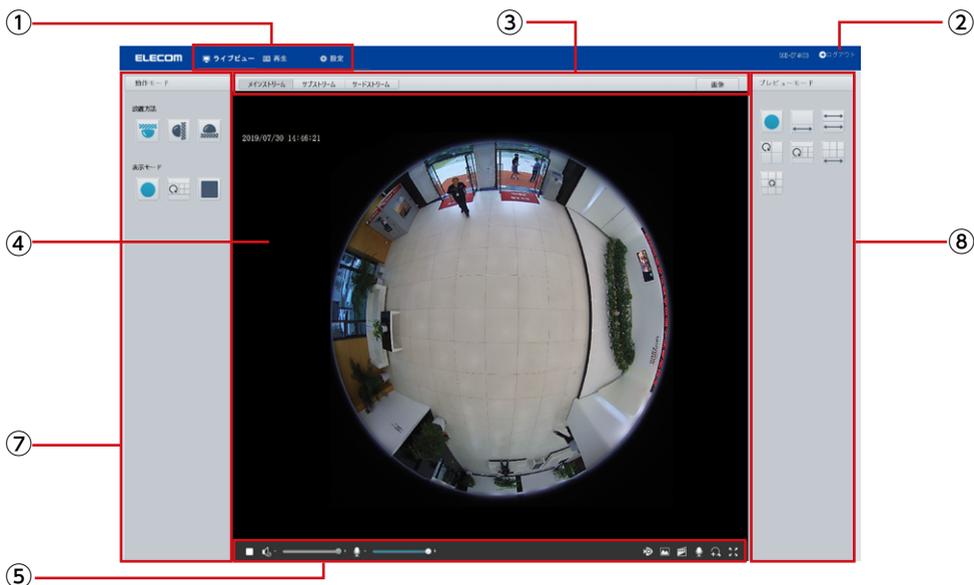
- ネットワークレコーダーに接続しない場合や、ネットワークレコーダーでは設定できない一部機能（microSD カード関連など）を利用する場合のみ、カメラの管理画面で設定してください。

接続しているカメラのライブビューやメインメニューなどが表示されます。

<バレット型カメラ・ドーム型カメラの場合>



<全方位4Kネットワークカメラの場合>



番号	項目	内容	
①	メインメニュー	ライブビュー	ライブビュー画面を表示します。
		再生	映像再生画面を表示します。 → 50 ページ「映像を再生する」
		設定	設定画面を表示します。 → 56 ページ「設定リファレンス編」
②	ログアウト	管理画面からログアウトします。	
③	映像メニュー	比例	映像の表示方法を設定します。 拡大縮小：画面の縦または横のサイズに合わせて映像を拡大・縮小します。余白部分は黒色表示されます。 伸縮：画面サイズに合わせて映像を縦横それぞれ伸縮します。 オリジナル：拡大・縮小せずにそのまま表示します。
		メインストリーム／サブストリーム／サードストリーム	ストリーム表示を切り替えます。
		画像	画像設定画面を表示、画質の調整を行います。

番号	項目	内容
④	ライブビュー	カメラの現在の映像が表示されます。
⑤	ツールメニュー	→ 37 ページ 「ツールメニュー」
⑥	コントロール パネル	カメラの操作パネルが表示されます。 (表示されるパネルはカメラによって異なります) → 38 ページ 「コントロールパネル」
⑦	動作モード パネル	魚眼カメラの設置方法や表示モードを設定します。 → 39 ページ 「動作モードパネル・プレビューモードパネル」
⑧	プレビュー パネル	画面に表示される映像の表示方法を変更します。 → 39 ページ 「動作モードパネル・プレビューモードパネル」

MEMO

SCB-EF4K03カメラで、プレビューモードで本来表示されているコントロールボタンが消えることがあります。

その場合は、もう一度ライブビューで「メインストリーム」を選択すると再表示ができます。

ツールメニュー



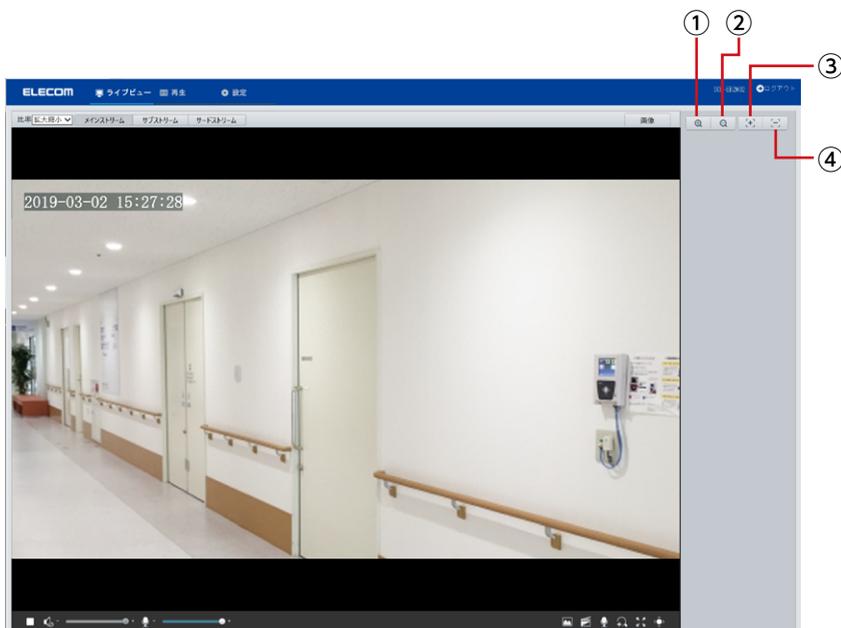
<全方位4Kネットワークカメラの場合>



番号	項目	内容
①		撮影中の映像の再生/停止を切り替えます。
②		スピーカー音量を調節します。
③		マイク音量を調節します。
④		プレビューモードパネルを表示します。(SCB-EF4K03 のみ) → 39 ページ「動作モードパネル・プレビューモードパネル」
⑤		スナップショットを撮影します。 MEMO スナップショットは、[ローカル設定] — [録画・スナップショット] — [フォルダ] で設定されているフォルダー内に、「Snap/ (撮影された日付)」のフォルダが作成され、その中に保存されます。
⑥		映像を管理用パソコンにダウンロードします。
⑦		マイクを使用し、双方向通話を開始します。
⑧		映像を拡大表示します。 アイコンをクリックした後、マウスで拡大する範囲を指定します。
⑨		映像を全画面表示します。 ダブルクリックまたは ESC キーを押すと元の画面に戻ります。
⑩		コントロールパネルの表示/非表示を切り替えます。(SCB-EB2M02、SCB-ED2M02 のみ) → 37 ページ

コントロールパネル

ズーム、フォーカス機能に対応しているカメラ（電動可変焦点バレット型 [SCB-EB2M02]、電動可変焦点ドーム型 [SCB-ED2M02]）はコントロールパネルに操作ボタンが表示されます。



番号	項目	内容
①		ズームインします。
②		ズームアウトします。
③		遠くに焦点を合わせます。
④		近くに焦点を合わせます。

動作モードパネル・プレビューモードパネル

全方位4Kネットワークカメラ(SCB-EF4K03)は「動作モードパネル」と「プレビューモードパネル」が表示されます。

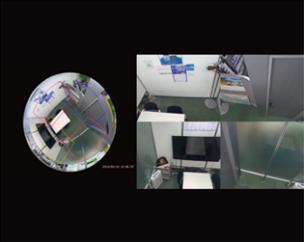
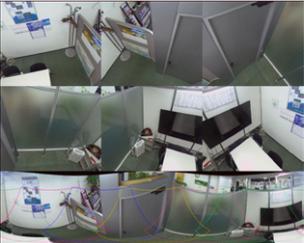
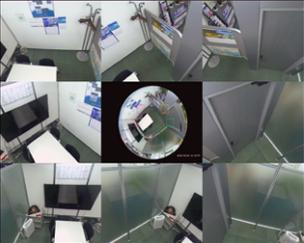


動作モードパネル

プレビューモードパネル
ツールメニューから [play icon] を
押すと表示されます。

番号	項目	内容									
①	設置方法	<p>カメラをどのように設置しているかを設定します。 設置方法を正しく選択することによって、パノラマ画面やPTZ画面の向きを正しい向きで表示されます。</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>天井マウント</td> <td>天井に取り付けている場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁マウント</td> <td>壁に取り付けている場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>卓上マウント</td> <td>台の上などに取り付けている場合に選択します。</td> </tr> </table>		天井マウント	天井に取り付けている場合に選択します。		壁マウント	壁に取り付けている場合に選択します。		卓上マウント	台の上などに取り付けている場合に選択します。
			天井マウント	天井に取り付けている場合に選択します。							
			壁マウント	壁に取り付けている場合に選択します。							
	卓上マウント	台の上などに取り付けている場合に選択します。									
②	表示モード	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>オリジナル画像</td> <td>右側の[プレビューモード]から表示モードを選択します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>魚眼+ 4PTZ</td> <td>1つの魚眼レンズ画面と4つのPTZ画面を表示します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>パノラマ</td> <td>パノラマ画面を表示します。</td> </tr> </table>		オリジナル画像	右側の[プレビューモード]から表示モードを選択します。		魚眼+ 4PTZ	1つの魚眼レンズ画面と4つのPTZ画面を表示します。		パノラマ	パノラマ画面を表示します。
			オリジナル画像	右側の[プレビューモード]から表示モードを選択します。							
			魚眼+ 4PTZ	1つの魚眼レンズ画面と4つのPTZ画面を表示します。							
	パノラマ	パノラマ画面を表示します。									
		<p>重要 ネットワークレコーダーに接続して利用しているときは、表示モード設定を変更しないでください。変更するとネットワークレコーダーでの録画が正しく行えなくなる場合があります。ご注意ください。</p>									

番号	項目	内容	
③	プレビューモード	<p>映像の表示方法を変更します。 プレビューモードで設定した表示画面設定は、録画される映像には影響しません。録画はオリジナル映像そのままで行われます。 天井マウント、卓上マウント選択時</p>	
		<p> オリジナルの画像を表示します。</p>	
		<p> 360° パノラマと PTZ 画面を表示します。</p>	
		<p> 2 つの 180° パノラマ画面を表示します。</p>	
		<p> 1 つの魚眼レンズ画面と 3 つの PTZ 画面を表示します。</p>	

番号	項目	内容	
③	プレビューモード	 <p>1つの魚眼レンズ画面と4つのPTZ画面を表示します。</p>	
		 <p>1つの360°パノラマ画面と6つのPTZ画面を表示します。</p>	
		 <p>1つの魚眼レンズと8つのPTZ画面を表示します。</p>	
壁マウント選択時			
		 <p>オリジナルの画像を表示します。</p>	

番号	項目	内容	
③	プレビューモード	 パノラマ画面を表示します。	
		 1つのパノラマ画面と3つのPTZ画面を表示します。*	
		 1つのパノラマ画面と4つのPTZ画面を表示します。	
		 1つのパノラマ画面と8つのPTZ画面を表示します。*	

※ 魚眼カメラが撮影している映像範囲をはみ出さないように、PTZカメラの映像範囲を指定する枠を配置してください。本製品の仕様上、本来の撮影範囲外の映像が入り込むと、映像が乱れる場合があります。映像が乱れた場合は、枠を丸い映像範囲内に戻してください。

運用編

microSDカードにデータを保存する	44
録画を開始する	44
録画を停止する	46
スナップショット画像を保存する	47
映像を再生する	50

microSDカードにデータを保存する

カメラにセットしたmicroSDカードにビデオ映像を保存することができます。(microSDカードへの映像録画は、補助的な録画先としてお使いください。)

- 固定焦点バレット型(SCB-EB2M01)はmicroSDスロットがありませんので、この機能は利用できません。
- 本製品の電源をオフにするときは、必ずSDカード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、SDカードのデータが破損する可能性があります。
- SDカードのデータが破損して見るができなくなった場合は、SDカードを再フォーマットしてください。

録画を開始する

1 カメラにmicroSDカードをセットします。

セット方法はカメラによって異なります。

→ [19ページ「microSDカードをセットする」](#)

重要

本製品は microSD カードのホットスワップに対応していません。microSD カードのセットは、カメラの電源をオフにした状態で行ってください。

2 管理画面から[設定]－[ストレージ]－[ストレージ]をクリックします。

3 ストレージ画面が表示されますので、以下を設定します。



① 必要に応じてフォーマットを実行します。

- 初めて本製品でmicroSDカードを使用する場合は、フォーマットを実行してください。
- フォーマットを実行すると、microSDカード内に保存されていたデータはすべて消去されます。
- [フォーマット]をクリックすると、フォーマットが実行されます。
- フォーマットが完了すると、システムが再起動します。

② [有効]にチェックを入れます。

録画設定が有効になります。

③ 録画映像に割り当てる容量を設定します。

通常は表示される最大値のままご利用ください。

この設定項目は将来の機能拡張のために準備しています。

現在はmicroSDカードへのスナップショット画像保存は行えません。

④ 録画設定を行います。

項目	内容						
ストレージポリシー	マニュアルストレージかプランストレージを選択します。						
	<table border="1"> <tr> <td>マニュアルストレージ</td> <td>常時映像を録画します。</td> </tr> <tr> <td>プランストレージ</td> <td>スケジュール設定に応じて録画します。選択すると、スケジュール編集ウィンドウが表示されますので、スケジュール設定を行います。 → 94 ページ [スケジュール編集ウィンドウ]</td> </tr> <tr> <td>OFF</td> <td>microSD カードへの映像録画を行いません。</td> </tr> </table>	マニュアルストレージ	常時映像を録画します。	プランストレージ	スケジュール設定に応じて録画します。選択すると、スケジュール編集ウィンドウが表示されますので、スケジュール設定を行います。 → 94 ページ [スケジュール編集ウィンドウ]	OFF	microSD カードへの映像録画を行いません。
	マニュアルストレージ	常時映像を録画します。					
プランストレージ	スケジュール設定に応じて録画します。選択すると、スケジュール編集ウィンドウが表示されますので、スケジュール設定を行います。 → 94 ページ [スケジュール編集ウィンドウ]						
OFF	microSD カードへの映像録画を行いません。						
ストリーム	録画するストリームを選択します。						
ストレージが一杯のとき	上書き 容量が満杯になると、古い録画データを消去して新しい録画データを上書きします。 停止 容量が満杯になると、録画を停止します。						
事後録画時間 (秒)	アラームによる録画の場合、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さ。						

4 [保存]をクリックして録画を開始します。

録画を停止する

- 1 管理画面から[設定] – [ストレージ] – [ストレージ]をクリックします。
- 2 ストレージ画面が表示されますので、**[ストレージポリシー]の[OFF]にチェックを入れます。**

ストレージ

記録媒体: メモリカード フォーマット 有効

ストレージ状態: ノーマル

総容量 14888 MB, 空き容量 14888 MB.

容量割り当て

ビデオ容量(MB) (残りの容量は画像の保存に使用されます)

スナップショット(MB)

映像ストレージ情報

ストレージポリシー マニュアルストレージ プラントストレージ OFF

事後録画時間(秒)

- 3 **[保存]**をクリックして録画を停止します。

重要

Web 設定画面で設定を保存した後、1分以内にカメラの電源をオフ (LAN ケーブルを抜く) にしないでください。

変更した設定値が内部不揮発性メモリーへ正しく保存されない場合があります。

Web 設定画面で「保存」のボタンを押すと、「パラメータの設定に成功しました」の表示が出て、設定内容は即時反映されますが、不揮発性メモリーへの設定変更内容の書き込みは、その後約1分経過後に実行されます。

カメラの電源をオフにする (LAN ケーブルを抜く) 場合は、最後の設定変更を行ってから1分以上経過した後に実施してください。

スナップショット画像を保存する

撮影したスナップショット画像をネットワーク経由でFTPサーバーに保存することができます。

1 管理画面から[設定] - [ストレージ] - [FTP] をクリックします。

2 [FTP] 画面が表示されますので、以下の情報を入力します。

設定したFTPサーバーが有効か
テストすることができます

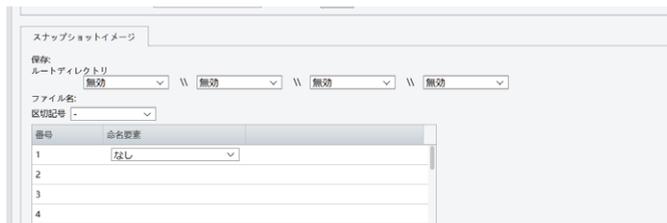
①

②

① FTP サーバ情報を設定します。

項目	内容	
サーバーパラメーター	サーバー IP	FTP サーバ情報を入力します。
	ポート番号	
	ユーザー名	
	パスワード	
	画像アップロード	チェックを入れると、スナップショット画像もアップロードします。
	上書き	チェックを入れると、画像数が指定した数に達すると、古いデータを上書きして保存します。
上書き (画像保存数)	[上書き] にチェックがされている場合、画像ファイル数の上限を指定します。	

② 画像を保存するディレクトリとファイル名を設定します。



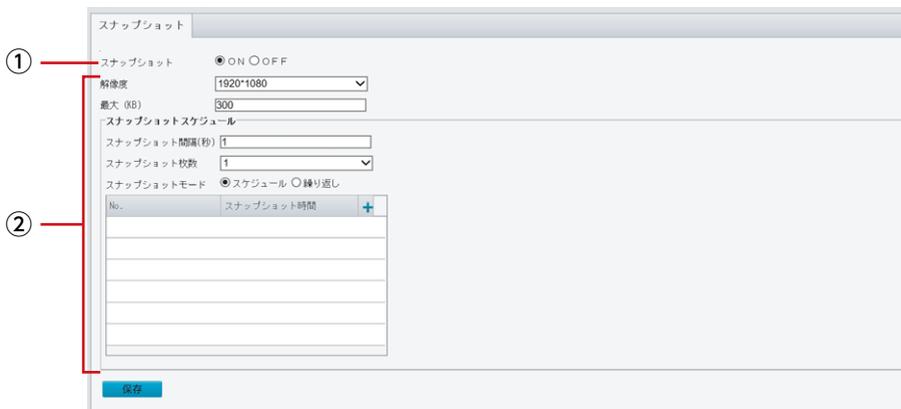
項目	内容
保存	データを保存するディレクトリを指定します。
ファイル名	ファイル名の命名規則を設定します。

③ [保存] をクリックします。

3 続いてスナップショットの設定をします。

管理画面から[設定] – [ビデオと音声] – [スナップショット] をクリックします。

4 [スナップショット] 画面が表示されますので、以下の情報を入力します。



① [スナップショット] を [ON] に設定します。

② 必要に応じて解像度やサイズ、スケジュールを設定します。

項目	内容		
解像度	スナップショット画像の解像度を設定します。		
最大 (KB)	スナップショット画像 1 枚あたりの最大サイズを指定します。		
スナップショット スケジュール	スナップショット間隔 (秒)	スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。	
	スナップショット枚数	一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。(1～3 枚)	
	スナップショット モード	スケジュール	スナップショット撮影する時刻を設定します。
		繰り返し	一定の間隔ごとにスナップショットを撮影します。
間隔 (秒)	[スナップショットモード] を [繰り返し] に設定しているときにスナップショットを撮影する間隔を設定します。(1～86400)		

③ [保存] をクリックします。

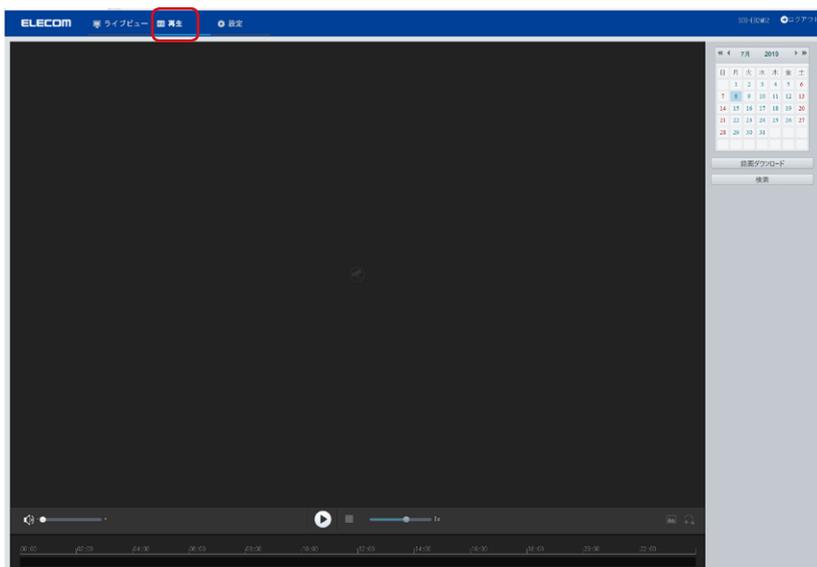
映像を再生する

カメラに接続されている microSD カード内の映像を再生します。

- 固定焦点バレット型 (SCB-EB2M01) は microSD スロットがありませんので、この機能は利用できません。

1 管理画面メインメニューから[再生]をクリックします。

再生画面が表示されます。



2 カレンダーで日付をクリックし、[検索]をクリックします。



- 3** 検索結果が表示されるので、
再生する期間をダブルクリックして再生します。



音量調整

現在の再生位置

録画データがある時間は
青色のバーで表示されます。

一時停止

停止

再生スピードの調節
※ 1x以外の速度は、
映像によって正確
ではありません。

拡大表示します。

スナップショット
を保存します。

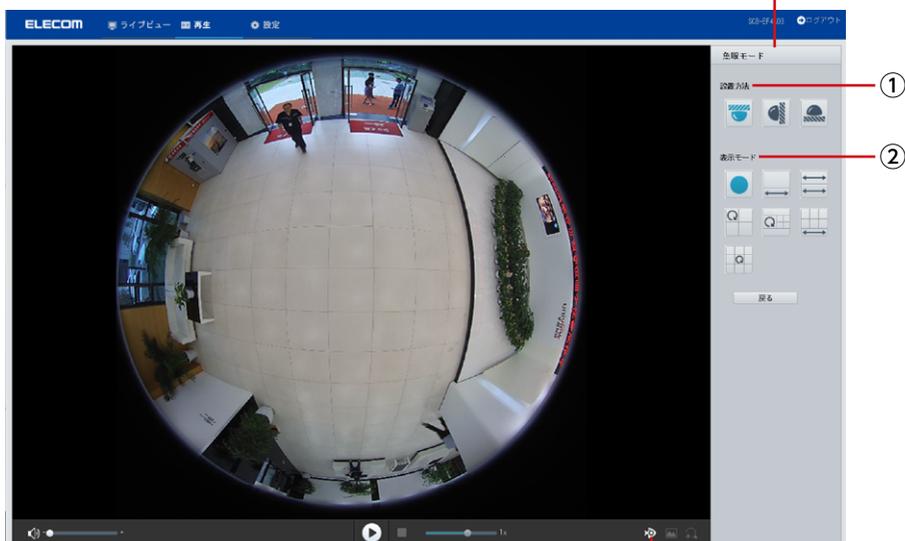
※ 映像内に表示される時刻と、ネットワークレコーダーの画面下部に表示される時刻は、映像のデコード速度の差によってずれが生じることがあります。

MEMO スナップショットは、[ローカル設定] - [録画・スナップショット] - [フォルダ] で設定されているフォルダ内に、「Snap/ (撮影された日付)」のフォルダが作成され、その中に保存されます。

<全方位4Kネットワークカメラの場合>

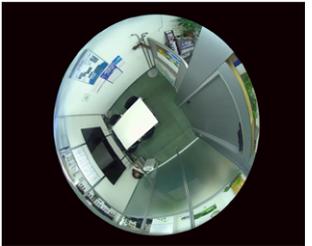
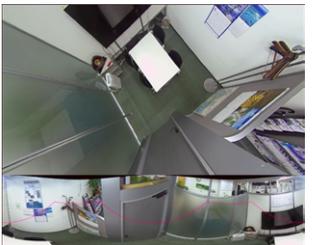
 アイコンをクリックすると、魚眼モードパネルが表示されます。

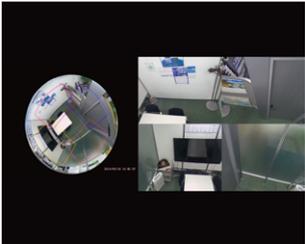
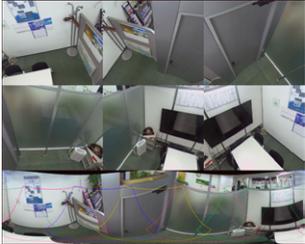
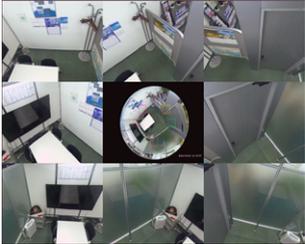
魚眼モードパネル

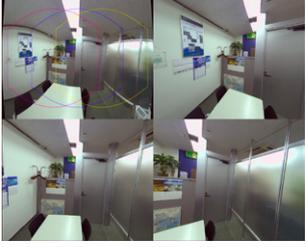
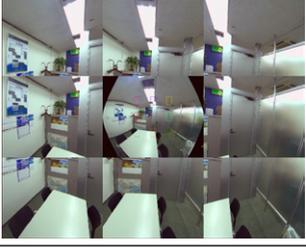


魚眼モードパネルを表示します。

番号	項目	内容									
①	設置方法	<p>カメラをどのように設置しているかを設定します。 設置方法を正しく選択することによって、パノラマ画面やPTZ画面の向きを正しい向きで表示されます。</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td></td> <td>天井マウント</td> <td>天井に取り付けている場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>壁マウント</td> <td>壁に取り付けている場合に選択します。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>卓上マウント</td> <td>台の上などに取り付けている場合に選択します。</td> </tr> </tbody> </table>		天井マウント	天井に取り付けている場合に選択します。		壁マウント	壁に取り付けている場合に選択します。		卓上マウント	台の上などに取り付けている場合に選択します。
	天井マウント	天井に取り付けている場合に選択します。									
	壁マウント	壁に取り付けている場合に選択します。									
	卓上マウント	台の上などに取り付けている場合に選択します。									

番号	項目	内容	
②	表示モード	映像の表示方法を変更します。 天井マウント、卓上マウント選択時	
		<input checked="" type="radio"/> オリジナルの画像を表示します。	
		<input type="checkbox"/> 360° パノラマと PTZ 画面を表示します。	
		<input type="checkbox"/> 2つの180°パノラマ画面を表示します。	
<input type="checkbox"/> 1つの魚眼レンズ画面と3つのPTZ画面を表示します。			

番号	項目	内容		
②	表示モード		<p>1つの魚眼レンズ画面と4つのPTZ画面を表示します。</p>	
			<p>1つの360°パノラマ画面と6つのPTZ画面を表示します。</p>	
			<p>1つの魚眼レンズと8つのPTZ画面を表示します。</p>	
壁マウント選択時				
			<p>オリジナルの画像を表示します。</p>	

番号	項目	内容
		 <p>パノラマ画面を表示します。</p> 
		 <p>1つのパノラマ画面と3つのPTZ画面を表示します。 ※</p> 
		 <p>1つのパノラマ画面と4つのPTZ画面を表示します。</p> 
		 <p>1つのパノラマ画面と8つのPTZ画面を表示します。 ※</p> 

※ 魚眼カメラが撮影している映像範囲をはみ出さないように、PTZカメラの映像範囲を指定する枠を配置してください。本製品の仕様上、本来の撮影範囲外の映像が入り込むと、映像が乱れる場合があります。映像が乱れた場合は、枠を丸い映像範囲内に戻してください。

設定リファレンス編

Web 設定画面について	59
共通	60
基本情報.....	60
ローカル設定	61
ローカル設定.....	61
ネットワーク.....	63
時間.....	63
画面表示設定.....	63
ユーザー.....	63
ネットワーク	64
ネットワーク.....	64
DNS.....	65
ポート設定.....	66
ポート.....	66
ポートマッピング.....	67
DDNS.....	68
Eメール.....	69
SNMP.....	70
ビデオと音声	71
ビデオ.....	71
スナップショット.....	73
音声.....	74
ROI.....	75

メディアストリーム	76
メディアストリーム	76
RTSP マルチキャストアドレス	77
画像	78
画像	78
シーン設定ウィンドウ	79
画像補正設定ウィンドウ	81
露出設定ウィンドウ	82
スマート照明設定ウィンドウ	84
ホワイトバランス設定ウィンドウ	85
拡張設定ウィンドウ	86
画面表示設定	87
プライバシーマスク	88
イベント	89
標準アラーム	89
動体検知	89
タンパリング	95
音声検知	97
アラーム入力	99
アラーム出力	101
ストレージ	102
ストレージ	102
FTP	104
セキュリティ	105
ユーザー	105

ネットワークセキュリティ	106
HTTPS	106
認証方式	107
ARP 保護	108
IP アドレスフィルタリング	109
アクセス方式	110
ウォーターマーク	111
システム	112
時間	112
ポート&デバイス	113
メンテナンス	114

Web 設定画面について

カメラの基本的な操作・設定は、ネットワークレコーダーの設定画面から行ってください。(設定方法はネットワークレコーダーのユーザーズマニュアルを参照してください)

ネットワークレコーダーの設定画面で行えない以下の設定をする場合に、カメラの Web 設定画面にアクセスしてください。

- microSD カードへ録画するとき
- ネットワークレコーダーなしで運用するとき

カメラによっては一部対応していない機能もあります。

メニュー項目	内容	ページ
共通	システムの共通設定を行います。	60 ページ
ネットワーク	IP アドレスや E メールなどの設定を行います。	64 ページ
ビデオと音声*	映像と音声などの設定を行います。	71 ページ
画像	画質や OSD、プライバシーマスクの設定を行います。	78 ページ
イベント	アラームを設定します。	89 ページ
ストレージ	microSD カードや FTP サーバーの設定を行います。	102 ページ
セキュリティ	ユーザーやアクセスの設定を行います。	105 ページ
システム	システムの設定を行います。	112 ページ

※ 固定焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M01) と固定焦点ドーム型カメラ (SCB-ED2M01) は「ビデオ」となります。

重要

Web 設定画面で設定を保存した後、1 分以内にカメラの電源をオフ (LAN ケーブルを抜く) にしないでください。

変更した設定値が内部不揮発性メモリーへ正しく保存されない場合があります。

Web 設定画面で「保存」のボタンを押すと、「パラメータの設定に成功しました」の表示が出て、設定内容は即時反映されますが、不揮発性メモリーへの設定変更内容の書き込みは、その後約 1 分経過後に実行されます。

カメラの電源をオフにする (LAN ケーブルを抜く) 場合は、最後の設定変更を行ってから 1 分以上経過した後に実施してください。

基本情報

本製品の基本的な情報を設定します。

The screenshot shows the '基本情報' (Basic Information) section of the camera's settings menu. The left sidebar lists various settings categories: 共通 (Common), ネットワーク (Network), ビデオと音声 (Video and Audio), 画像 (Image), イベント (Event), ストレージ (Storage), セキュリティ (Security), and システム (System). The main area displays the following information:

基本情報	
型番	S28-EB2M02
ファームウェア バージョン	1FC_08100-00010P10D1008C50
ハードウェア バージョン	A
ブート バージョン	V4.0
ベンダー番号	2102261901A195000180
ネットワーク	172.16.0.21/255.240.0.3/172.16.0.1
MACアドレス	04:ab:18:22:71:1f
状態	
システム時間	2011/12/4 00:44:25
稼働時間	3 日 0 時間 44 分

On the right, the '共通設定' (Common Settings) panel contains four icons: a globe for 'ネットワーク' (Network), a clock for '時間' (Time), 'OSD' for '画面表示設定' (OSD/Screen Display Settings), and a person icon for 'ユーザー' (User). A '更新' (Update) button is located at the bottom of the main information area.

項目	内容
基本情報	本カメラの基本情報が表示されます。
状態	本カメラの状態を表示します。
共通設定	クリックすると、各設定画面に移動します。

ローカル設定

ローカル設定

ホーム画面 (ライブビュー画面) のスナップショットやパソコンへの録画に関する設定、再生画面のスナップショット・録画に関する設定です。

The screenshot shows the 'ローカル設定' (Local Settings) page in the ELECOM interface. The left sidebar contains navigation options like '基本情報', 'ローカル設定', 'ネットワーク', '時間', '画面表示設定', 'ユーザー', 'ネットワーク', 'ビデオと音声', '画像', 'イベント', 'ストレージ', 'セキュリティ', and 'システム'. The main content area is titled 'ローカル設定' and includes sections for 'ビデオパラメータ', '音声', and '録画・スナップショット'. The 'ビデオパラメータ' section has '処理モード' (Processing Mode) set to 'なめらかさ優先' (Best Effort) and 'プロトコル' (Protocol) set to 'TCP'. The '音声' section has 'エンコード形式' (Encoding Format) set to 'G.711U'. The '録画・スナップショット' section has '録画' (Recording) set to '時間分割' (Time-based), '分割時間 (分)' (Interval) set to '50', '録画容量不足の場合' (When recording capacity is full) set to '上書き' (Overwrite), '録画容量 (GB)' (Capacity) set to '10', 'ローカル録画' (Local Recording) set to 'TTS', and 'フォルダ' (Folder) set to 'C:\Users**\Surveillance_IPCI\PCNB'. A '保存' (Save) button is at the bottom.

項目	内容							
ビデオパラメータ	<table border="1"><tr><td rowspan="3">処理モード</td><td>リアルタイム優先</td><td>ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。</td></tr><tr><td>なめらかさ優先</td><td>ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。</td></tr><tr><td>超低遅延</td><td>ライブビデオのタイムラグを最小限にしたい場合に選択します。</td></tr></table>	処理モード	リアルタイム優先	ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。	なめらかさ優先	ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。	超低遅延	ライブビデオのタイムラグを最小限にしたい場合に選択します。
	処理モード		リアルタイム優先	ネットワークが良好な状態にある場合に選択します。				
			なめらかさ優先	ライブビデオのタイムラグを短くしたい場合に選択します。				
超低遅延		ライブビデオのタイムラグを最小限にしたい場合に選択します。						
プロトコル	PC でデコードされるメディアストリームの送信用のプロトコルを設定します。							

項目	内容		
音声	エンコード形式	音声のエンコード形式を選択します。	
録画・ スナップショット	録画	時間分割	指定した時間でファイルを分割します。
		サイズ分割	指定したサイズでファイルを分割します。
	分割時間 (秒)	[時間分割] を選択している場合に、分割する時間を設定します。	
	分割サイズ(MB)	[サイズ分割] を選択している場合に、分割するサイズを設定します。	
	録画容量不足の場合	上書き	割り当てられたスペースを使い切ると、もっとも古いデータが上書きされます。
		録画停止	割り当てられたスペースを使い切ると、それ以上録画 / 画像データは保存されません。
	総容量	映像・画像の上限容量を設定します。	
	ローカル録画	映像データをファイル保存する形式を指定します。指定できる形式は、TS (トランスポートストリーム) 形式のみです。	
フォルダ	PC 上のローカルフォルダを指定します。		

ネットワーク

→ [64 ページ「ネットワーク」](#)をご参照ください。

時間

→ [112 ページ「時間」](#)をご参照ください。

画面表示設定

→ [87 ページ「画面表示設定」](#)をご参照ください。

ユーザー

→ [105 ページ「ユーザー」](#)をご参照ください。

ネットワーク

ネットワーク

カメラが他のデバイスと通信できるように、カメラのIPアドレスなどの通信設定を変更します。

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) configuration page in the ELECOM web interface. The left sidebar contains navigation options like 'ネットワーク', 'DNS', 'ポート設定', 'DNS', 'Eメール', 'SNMP', 'ビデオと音声', '画像', 'イベント', 'ストレージ', 'セキュリティ', and 'システム'. The main content area is titled 'ネットワーク' and includes the following settings:

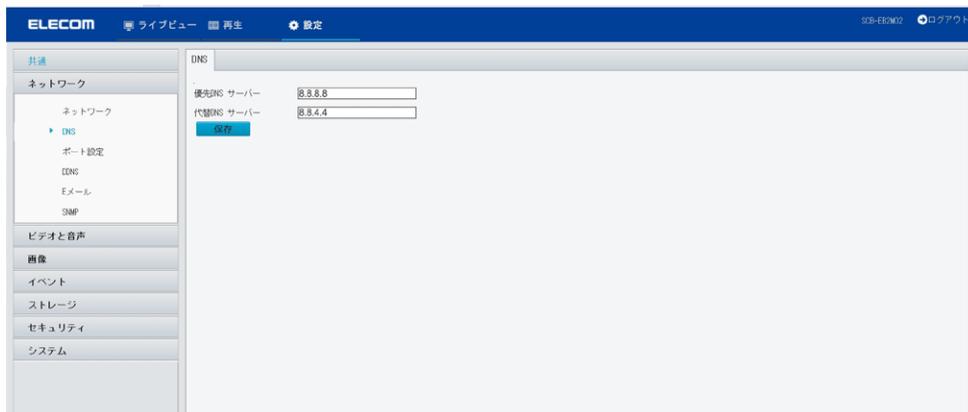
- IPアドレスを取得: 固定IP (Selected)
- IPアドレス: 172.16.0.6
- サブネットマスク: 255.240.0.0
- デフォルトゲートウェイ: 172.16.0.1
- MTU: 1500
- ポートタイプ: P/Eポート (Selected)
- 操作モード: オート (Selected)

A '保存' (Save) button is located at the bottom of the configuration area.

項目	内容	
IP アドレスを取得	固定 IP	IP アドレスを設定します。
	DHCP	自動的に IP アドレスを取得します。
IP アドレス	[固定 IP] を選択したときに、設定します。	
サブネットマスク	※ [IP アドレスとゲートウェイアドレスは同じセグメントにできません。] とメッセージが出ますが、正しくは [IP アドレスとゲートウェイアドレスは違うセグメントにできません。] となります。	
デフォルトゲートウェイ		
MTU	MTU = Maximum Transmission Unit 1 回の転送で送信できるデータの最大値 (単位バイト) を設定します (576 ~ 1500)。通常は変更する必要はありません。	
ポートタイプ	ポートタイプが表示されます。 変更はできません。	
操作モード	イーサネットの通信速度と通信方式を選択します。	

DNS

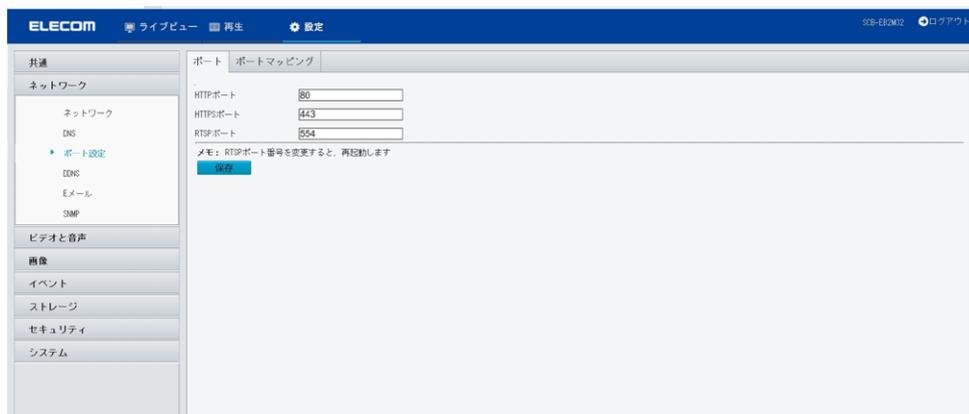
DNSサーバーのアドレスを設定します。



ポート設定

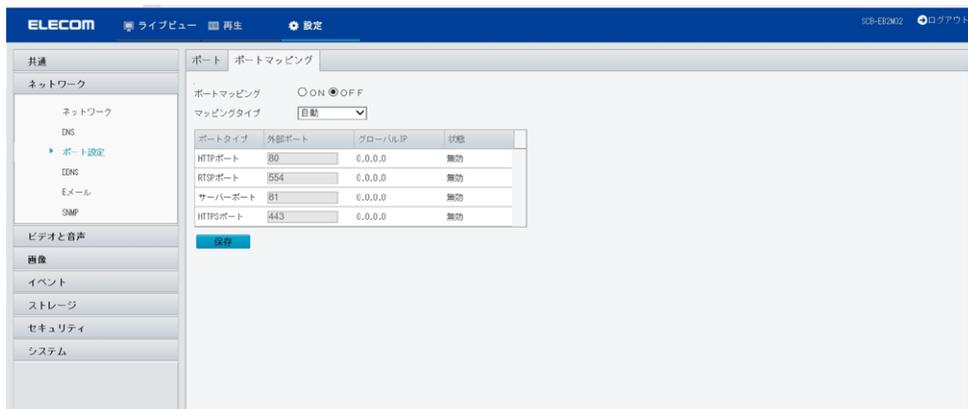
■ ポート

ポート番号を設定できます。



■ ポートマッピング

ポートマッピング機能を使用する場合に設定します。



項目	内容
ポートマッピング	ポートマッピング機能を使うときは [ON] にチェックを入れます。
マッピングタイプ	手動または自動を選択します。
ポートタイプ	[マッピングタイプ] を [手動] に設定しているときに、ポート番号を設定します。
状態	設定されたポートが占有されている場合は、[無効] と表示されます。

DDNS

DDNS (ダイナミックDNS) を利用すると、WAN 側が固定 IP アドレスでなくても、ホスト名を使ってサーバーなどを利用できるようになります。

この機能を利用するには、SkylinkDDNS サービスに登録する必要があります。

The screenshot shows the DDNS configuration interface. On the left is a navigation menu with categories like 'ネットワーク' (Network), 'ポート設定' (Port Settings), 'メール' (Email), and 'DMZ'. The main area is titled 'DDNS' and contains the following elements:

- DDNS サービス**: Radio buttons for ON (selected) and OFF.
- DDNS タイプ**: A dropdown menu currently set to 'SkylinkDDNS'.
- ユーザー名**: A text input field.
- パスワード**: A password input field with masked characters.
- 確認**: A blue button labeled '保存' (Save).

項目	内容
DDNS サービス	DDNS のオン/オフを選択します。
DDNS タイプ	SkylinkDDNS サービスのみ対応しています。
ユーザー名	DDNS の情報を入力します。
パスワード	
確認	

Eメール

アラーム発生時に送信するEメールの設定をします。

(アラーム発生時にEメールを送付するようにする設定は、[イベント] – [標準アラーム]設定で行います)

The screenshot shows the 'Eメール' (Email) configuration page in the ELECOM management interface. The left sidebar contains navigation options: 共通 (General), ネットワーク (Network), ビデオと音声 (Video and Audio), 画像 (Image), イベント (Event), ストレージ (Storage), セキュリティ (Security), and システム (System). The main area is titled 'Eメール' and is divided into '送信者' (Sender) and '受信者' (Receiver) sections.

送信者 (Sender) fields:

- 送信者名 (Sender Name): [Text Input]
- アドレス (Address): [Text Input]
- SMTP サーバー (SMTP Server): [Text Input]
- SMTP ポート (SMTP Port): [Text Input, value: 25]
- TLS/SSL: ON OFF
- スナップショットの間隔(秒) (Snapshot Interval (sec)): [Dropdown, value: 2] 送信遅延
- サーバー認証 (Server Authentication): ON OFF
- ユーザー名 (Username): [Text Input]
- パスワード (Password): [Text Input, masked with asterisks]

受信者 (Receiver) fields:

- 名前 (Name): [Text Input]
- アドレス1 (Address 1): [Text Input]
- 名前 (Name): [Text Input]
- アドレス2 (Address 2): [Text Input]
- 名前 (Name): [Text Input]
- アドレス3 (Address 3): [Text Input]

Buttons at the bottom: 保存 (Save), テスト (Test)

項目	内容	
送信者	送信者名	メールの送信者となる名前とアドレスを設定します。
	アドレス	
	SMTP サーバー	SMTP サーバー情報を入力します。
	SMTP ポート	
	TLS/SSL	
	スナップショットの間隔	スナップショットの間隔を設定します。
	サーバー認証	認証用のユーザー名とパスワードを入力します。
	ユーザー名	
パスワード		
受信者	名前	受信者の情報を入力します。
	アドレス	宛先は最大 3 件まで登録できます。

SNMP

SNMPを使用してプラットフォームに接続し、システム時刻を取得します。

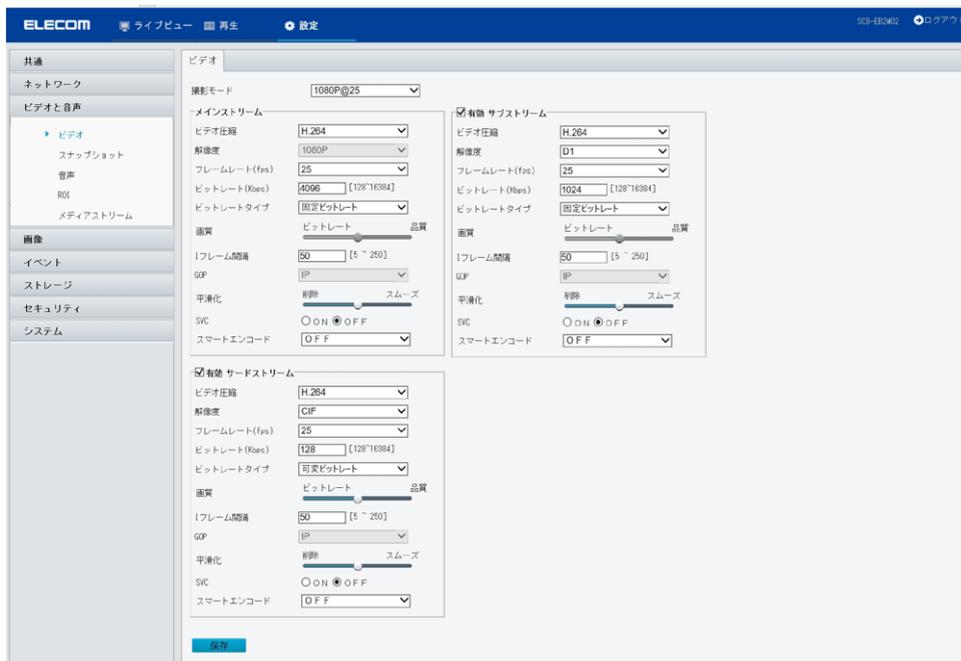
項目	内容
SNMP タイプ	SNMP のタイプを選択します。
ユーザー名	SNMP の情報を入力します。
認証モード	
パスワード	
確認	
暗号化モード	
パスワード	
確認	

MEMO

SNMP マネージャー側で、カメラの機器名称は取得できません。

ビデオ

映像の設定を行います。

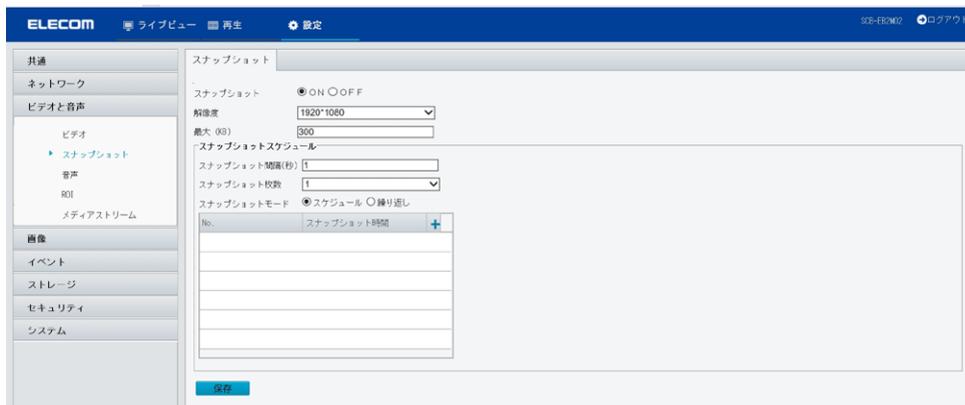


項目	内容
撮影モード	映像の解像度とフレームレートを設定します。
ビデオ圧縮	ビデオの圧縮規格を選択します。
解像度	ビデオの解像度を選択します。
フレームレート(fps)	1秒あたりのフレーム数を設定します。
ビットレート(kbps)	1秒あたりの転送ビット数値を選択します。

項目	内容	
ビットレートタイプ	<p>固定ビットレート ビデオストリームの品質を変えることによって特定のビットレートを維持するために使用されます。 帯域幅が限られている場合は、固定ビットレートが優先されます。 ビデオの品質が変動し、シーン内の動きが増えるとビデオの品質が著しく低下するデメリットがあります。</p> <p>可変ビットレート ビットレートが変わるかわりに、できるだけ映像を一定の品質に保ちます。 高画質が要求される場合や、画像に動きがある場合は、可変ビットレートを選択することをおすすめします。</p>	
画質	画質を設定します。この設定は [可変ビットレート] を選択している場合のみ有効です。	
I フレーム間隔	2 つの隣接する I フレーム間のフレーム数を設定します。	
GOP	イントラフレーム(I フレーム) とインターフレームの配置順序を指定します。	
平滑化	<p>スムージングの程度を設定します。 スムージングを増やすと画質に影響を与えます。</p>	
SVC	<p>本項目は、将来の機能拡張用として用意しています。 OFF のままご利用ください。</p>	
スマートエンコード	基本モード	実際のビットレートは設定ビットレートの約 3/4 です。
	アドバンスドモード	実際のビットレートは設定ビットレートの約 1/2 です。
	<p>※ スマートエンコード設定は、ビデオ圧縮が H.264 と H.265 の時のみ設定可能です。MJPEG では設定できません</p> <p>※ スマートエンコードが有効になっていると、30 以上のフレームレートはサポートされません。</p>	

スナップショット

スナップショット画像の解像度、画質、および撮影の間隔を設定します。



項目	内容		
スナップショット	[ON] を選択すると、設定した間隔でスナップショット画像を撮影します。		
解像度	スナップショット画像の解像度を設定します。		
最大 (KB)	スナップショット画像 1 枚あたりの最大サイズを指定します。		
スナップショット スケジュール	スナップショット間隔(秒)	スナップショットを連続して撮影する間隔を設定します。	
	スナップショット枚数	一度に撮影するスナップショットの枚数を設定します。(1～3枚)	
	スナップショットモード	スケジュール	スナップショット撮影する時刻を設定します。
		繰り返し	一定の間隔ごとにスナップショットを撮影します。
間隔(秒)	[スナップショットモード] を [繰り返し] に設定しているときにスナップショットを撮影する間隔を設定します。(1～86400)		

MEMO

スナップショット画像を保存するには別途 FTP サーバーの設定が必要です。

→ [47 ページ「スナップショット画像を保存する」](#)

※ 現在は microSD カードへのスナップショット画像保存は行えません。

音声※

カメラの音声エンコードパラメータを設定します。

- ※ 電動可変焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M02)、電動可変焦点ドーム型カメラ (SCB-ED2M02) ・ 全方位4Kネットワークカメラ (SCB-EF4K03) のみ表示されます。
固定焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M01)、固定焦点ドーム型 (SCB-ED2M01) には音声機能がないため、本設定画面は表示されません。

The screenshot shows the '音声' (Audio) settings page in the ELECOM camera's web interface. The page has a blue header with 'ELECOM' and navigation icons. On the left is a sidebar menu with categories like '共通', 'ネットワーク', 'ビデオと音声', '画像', and 'システム'. The main content area is titled '音声' and contains several settings:

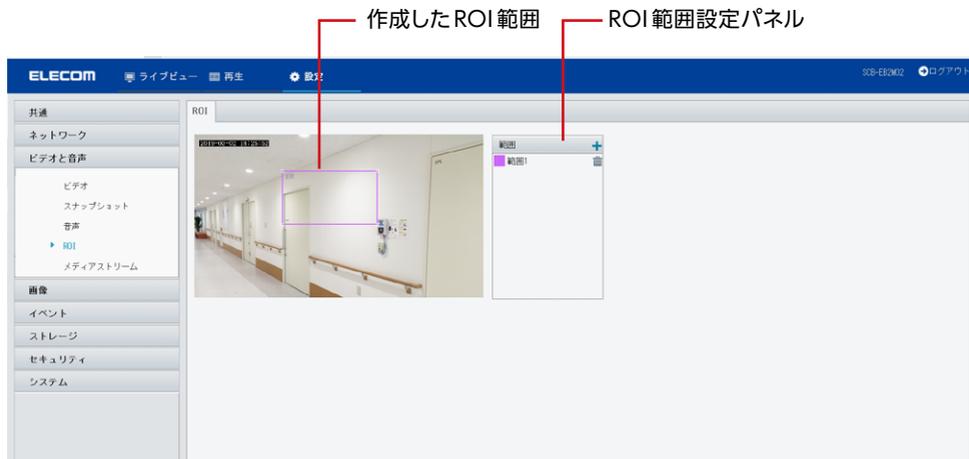
- 音声入力**: A section with a radio button for **ON** (selected) and **OFF**.
- 接続モード**: A dropdown menu set to 'ライン/マイク'.
- 入力感度**: A numeric input field set to '128' with a range of '[0~255]'.
- 音声圧縮**: A dropdown menu set to 'G.711U'.
- サンプリングレート (KHz)**: A dropdown menu set to '8'.
- ノイズサプレス**: Radio buttons for **ON** (selected) and **OFF**.
- チャンネル1**: A dropdown menu set to 'ライン' with a checked '有効' (Enabled) checkbox.
- 音声出力**: A dropdown menu set to 'ライン'.

At the bottom of the settings area is a blue '保存' (Save) button.

項目	内容	
音声入力	音声入力	[OFF] を選択すると、オーディオデータはエンコードされません。音声が不要な場合は、[OFF] を選択してください。
	接続モード	[ライン/マイク] のみ選択できます。 この機能は、2つのオーディオ出力チャンネルを持つデバイスには使用できません。
	入力感度	入力ゲインを設定します。
	音声圧縮	音声の圧縮形式を選択します。
	サンプリングレート (KHz)	変更はできません。
	ノイズサプレス	ノイズ抑制のオン/オフを選択します。
	チャンネル1	[有効] にチェックを入れると、音声出力が有効になります。 (対応カメラのみ)
音声出力	変更はできません。	

ROI

関心領域 (ROI) が有効になっていると、ビットレートが不十分な場合、ROIの範囲の画質が優先的に保護されます。



項目	内容
ROI 範囲設定パネル	 ROI 範囲を追加します。 +をクリックした後、マウスで画面上をドラッグして範囲を設定します。
	 ROI 範囲を削除します。

メディアストリーム

■ メディアストリーム

カメラから確立されたメディアストリームを表示します。

また、カメラがUDPまたはTCPプロトコルで指定されたIPアドレスとポート番号にコードストリームを送信するように設定することもできます。設定はカメラの再起動後に有効になります。

「メディアストリーム」画面が表示され、メディアストリームを追加することができます。



メディアストリーム画面

メディアストリーム追加 ✕

ストリームプロファイル

IPアドレス

ポート

プロトコル

永続的 有効 無効

項目	内容
ストリームプロファイル	
IPアドレス	
ポート	追加するストリームを設定します。
プロトコル	
永続的	[有効] にチェックを入れると、再起動後に自動的に以前設定されたメディアストリームをデバイスに確立させます。

■ RTSP マルチキャストアドレス

RTSP マルチキャストアドレスを設定すると、RTP プロトコルを介して、サードパーティ製デバイスがカメラからRTSP マルチキャストメディアストリームを要求できるようになります。

The screenshot shows the 'RTSP マルチキャストアドレス' (RTSP Multi-cast Address) configuration page in the ELECOM camera's web interface. The interface includes a navigation menu on the left with categories like '共通' (Common), 'ネットワーク' (Network), 'ビデオと音声' (Video and Audio), '画像' (Image), 'イベント' (Event), 'ストレージ' (Storage), 'セキュリティ' (Security), and 'システム' (System). Under 'ビデオと音声', 'メディアストリーム' (Media Stream) is selected. The main content area is titled 'メディアストリーム RTSP マルチキャストアドレス' and contains three sections: 'メインストリーム' (Main Stream), 'サブストリーム' (Sub Stream), and 'ワードストリーム' (Word Stream). Each section has input fields for 'マルチキャストアドレス' (Multi-cast Address) and 'ポート' (Port). The 'メインストリーム' section has a '保存' (Save) button below it. The values in the input fields are 0.0.0.0 for the addresses and 0 for the ports.

ストリームタイプ	マルチキャストアドレス	ポート
メインストリーム	0.0.0.0	0
サブストリーム	0.0.0.0	0
ワードストリーム	0.0.0.0	0

画像

映像の画像設定を行います。



項目	内容
自動切替有効	チェックを入れると、条件が満たされた場合に自動的にシーンを切り替えます。 (チェックを入れているときは、画像設定ができなくなります)
シーン	シーン設定ウィンドウを表示します。 → 79 ページ 「シーン設定ウィンドウ」
画像補正	画像補正設定ウィンドウを表示します。 → 81 ページ 「画像補正設定ウィンドウ」
露出	露出設定ウィンドウを表示します。 → 82 ページ 「露出設定ウィンドウ」
スマート照明	スマート照明設定ウィンドウを表示します。 → 84 ページ 「スマート照明設定ウィンドウ」
ホワイトバランス	ホワイトバランス設定ウィンドウを表示します。 → 85 ページ 「ホワイトバランス設定ウィンドウ」
拡張設定	拡張設定ウィンドウを表示します。 → 86 ページ 「拡張設定ウィンドウ」

■ シーン設定ウィンドウ

本システムには撮影条件に応じた画像設定がシーンとして登録されています。
照明や時間によって自動的にシーンが切り替わるように設定することもできます。



項目	内容	
現行	プレビュー映像に選択されているシーン設定を適用します。 ([自動切替] にチェックを入れていると、自動的に現行のシーンが切り替わります)	
シーン名	あらかじめ登録されているシーンを選択します。 シーン選択中は、画像補正や露出などを設定することができます。	
	共通	屋外の撮影に適しています。
	屋内	屋内の撮影に適しています。
	ハイライト補正 (道路用) *	こちらを向いた車のヘッドライトが映るような環境に適しています。 ヘッドライト等の強い光を抑え、ナンバープレートや運転者の顔が捉えやすくなります。
	ハイライト補正 (公園用) *	公園のスポットライトなどの強い光を抑えます。広い場所で街灯がついているような環境に適しています。
	WDR *	窓や廊下など、明暗の差が強い場所の撮影に適しています。
	カスタム *	必要に応じて画像設定とシーン名を設定することができます。
※ 全方位4Kネットワークカメラ(SCB-EF4K03)では登録されていません。		
自動切替	チェックを入れると、選択しているシーンの切り替え条件(時間と照明)が両方満たされたときに、自動的にシーンに切り替えます。	
設定	 シーンを切り替える時間と照明の条件を設定します。 → 80 ページ「シーン条件切り替え設定ウィンドウ」	
	 デフォルトのシーンに設定します。	

自動切替有効	<p>設定した条件になったときに、自動的にシーンを切り替えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定した条件に該当しない場合は、「デフォルトシーン」が適用されます。 ● 複数の条件に該当する場合は、その中で番号が一番小さいシーンに切り替わります。
---------------	---

シーン条件切り替え設定ウィンドウ

スケジュール	照明
<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	<input type="text"/> 0 ~ <input type="text"/> 0
<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	<input type="text"/> 0 ~ <input type="text"/> 0
<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	<input type="text"/> 0 ~ <input type="text"/> 0
<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	<input type="text"/> 0 ~ <input type="text"/> 0

項目	内容																														
スケジュール	シーンを切り替える時間帯を設定します。																														
照明	<p>シーンを切り替える照明の範囲を設定します。(0 ~ 999999) 数値が高いほど明るい照明を示しています。 0 ~ 0 の場合は、条件は無効になります。 照明の数値は、シーン設定ウィンドウの現在の照明値を参照に設定してください。</p> <div style="border: 1px solid #ccc; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>▼ シーン</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">番号</th> <th style="width: 5%;">現行</th> <th style="width: 40%;">シーン名</th> <th style="width: 10%;">自動切替</th> <th style="width: 40%;">設定</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td><屋内></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>デフォルトシーン</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td><input type="radio"/></td> <td><ハイライト補正 (道路用)></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td> </td> </tr> <tr> <td>3</td> <td><input type="radio"/></td> <td><ハイライト補正 (公園用)></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td> </td> </tr> <tr> <td>4</td> <td><input type="radio"/></td> <td><屋内></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td> </td> </tr> <tr> <td>5</td> <td><input type="radio"/></td> <td><共通></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">照明: 41 </p> </div>	番号	現行	シーン名	自動切替	設定	1	<input checked="" type="radio"/>	<屋内>	<input type="checkbox"/>	デフォルトシーン	2	<input type="radio"/>	<ハイライト補正 (道路用)>	<input checked="" type="checkbox"/>		3	<input type="radio"/>	<ハイライト補正 (公園用)>	<input checked="" type="checkbox"/>		4	<input type="radio"/>	<屋内>	<input checked="" type="checkbox"/>		5	<input type="radio"/>	<共通>	<input checked="" type="checkbox"/>	
番号	現行	シーン名	自動切替	設定																											
1	<input checked="" type="radio"/>	<屋内>	<input type="checkbox"/>	デフォルトシーン																											
2	<input type="radio"/>	<ハイライト補正 (道路用)>	<input checked="" type="checkbox"/>																												
3	<input type="radio"/>	<ハイライト補正 (公園用)>	<input checked="" type="checkbox"/>																												
4	<input type="radio"/>	<屋内>	<input checked="" type="checkbox"/>																												
5	<input type="radio"/>	<共通>	<input checked="" type="checkbox"/>																												

■ 画像補正設定ウィンドウ



項目	内容
輝度	値を大きくするほど(スライダが右にあるほど)、映像が明るくなります。
彩度	値を大きくするほど (スライダが右にあるほど)、彩度が高くなります。
コントラスト	値を大きくするほど (スライダが右にあるほど)、コントラストが強くなります。
シャープネス	値を大きくするほど (スライダが右にあるほど)、シャープネスが強くなります。
2D ノイズ削減	値を大きくするほど (スライダが右にあるほど)、映像中のノイズを減らします。この機能により画像がぼやけることがあります。
3D ノイズ削減	値を大きくするほど (スライダが右にあるほど)、映像中のノイズを減らします。この機能はモーションブラー (または一部のアプリケーションではゴースト) を引き起こす可能性があります。
画像回転	映像を回転表示します。

■ 露出設定ウィンドウ



項目	内容	
露出モード	露出モードを選択します。	
	自動	環境に応じて自動的に調整します。
	カスタム	手動で露出を設定します。
	屋内 50Hz	シャッター周波数を制限して縞模様の出現を減らします。
	屋内 60Hz	
	手動	シャッター (秒)、感度などを手動で設定します。
低モーションブラー	モーションブラーを減らすために最小シャッターを制御します。	
シャッター (秒)	シャッタースピードを設定します。 動きの速い被写体には速いシャッタースピード、動きの遅い被写体には遅いシャッタースピードが適しています。 [スローシャッター] を[OFF] に設定しているときは、シャッタースピードの分母の数がフレームレートの数より大きくなるように設定する必要があります。	
感度	カメラがさまざまな照明条件で標準のビデオ信号を出力できるように、画像信号を制御します。	

項目	内容	
スローシャッター	暗い場所を撮影するときに映像を明るくすることができます。	
スローシャッター (最遅設定)	シャッタースピードの下限を設定します。	
補正	露出を補正します。	
測光制御	カメラが光の強度を測定する方法を設定します。	
	中央重点平均測光	おもに画像の中央部分で光を測定します。
	評価測定 (BLC)	露出オーバー部分の明るさを無視して測定します。 逆光時に有効ですが、画像全体の明るさは低下します。
	スポット測光	画像の一点で測定します。
※ このパラメーターは、露出モードが手動に設定されていない場合にのみ設定できます。		
デイ/ナイトモード	自動	光の状態に応じて自動的にナイトモードとデイモードを切り替えます。
	デイ	カラー画像で撮影します。
	ナイト	赤外線 LED を使用し、白黒画像で撮影します。
デイ/ナイト感度	デイモードとナイトモードを切り替えるときの感度を選択します。 「高」に設定すると、デイモードとナイトモードが切り替わりやすくなります。 この設定は、「デイ/ナイトモード」が「自動」に設定されているときのみ有効です。	
デイ/ナイト切替 (秒)	デイモードとナイトモードを切り替えるまでの時間を設定します。 この設定は、「デイ/ナイトモード」が「自動」に設定されているときのみ有効です。	
WDR	WDR (ワイドダイナミックレンジ) 機能を有効にして、被写体のコントラストが高い場合でも映像を鮮明にします。	
WDR レベル	WDR のレベルを設定します。	
WDR ストライプ抑制	有効にすると、カメラは光の周波数に応じて遅いシャッター周波数を自動的に調整して、画像に表示される縞模様を最小限に抑えることができます。	
WDR ON 感度	WDR を OFF から ON にする感度を設定します。数値を大きくするほど WDR が ON になるタイミングが早くなります。 ※ SCB-EB2M01/SCB-EB2M02/SCB-ED2M02 で設定できます。	
WDR OFF 感度	WDR を ON から OFF にする感度を設定します。数値を大きくするほど WDR が OFF になるタイミングが早くなります。 ※ SCB-EB2M01/SCB-EB2M02/SCB-ED2M02 で設定できます。	

■ スマート照明設定ウィンドウ



項目	内容	
スマート照明	スマート照明のオン/オフを選択します。	
照明タイプ	赤外線	赤外線照明を使用します。
	ホワイトライト	白色光照明を使用します。
コントロールモード	グローバル	照明と露出をバランスよく調整します。 このオプションを選択すると、一部の領域が露出オーバーになることがあります。監視範囲と画像の明るさが最優先の場合は、このオプションをおすすめします。
	露出オーバー抑制	局所的な露出オーバーを避けるように、赤外線照明と露出を調整します。 このオプションを選択すると、一部の領域が暗くなる可能性があります。画像の中央部分の鮮明さと露出オーバーの抑制を最優先する場合におすすめします。
	手動	赤外線照明の強度を手動で制御します。
照明レベル	赤外線照明のレベルを 1 ~ 500 の範囲で設定します。 値が大きいほど、強度が高くなります。0 に設定すると消灯します。 この設定はコントロールモードが [手動] に設定されている場合に設定できます。	

■ ホワイトバランス設定ウィンドウ

カメラ映像のホワイトバランスを設定します。



項目	内容	
ホワイトバランス	自動 / 自動 2	光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します (色は青になる傾向があります)。 [自動] または [自動 2] でどちらか自然に見える方を選択してください。
	屋外	屋外環境に適しています。
	微調整	赤と青のオフセットを手動で調整します。
	ナトリウムランプ	光の状態に応じて赤と青のオフセットを自動的に調整します (色は赤になる傾向があります)。
	保護	変更せずに現在の色温度を固定します。
赤オフセット	赤のオフセットを手動で調整します。 この設定は、ホワイトバランスが [微調整] に設定されている場合のみ設定できます。	
青オフセット	青のオフセットを手動で調整します。 この設定は、ホワイトバランスが [微調整] に設定されている場合のみ設定できます。	

■ 拡張設定ウィンドウ

カメラ映像の詳細設定をします。



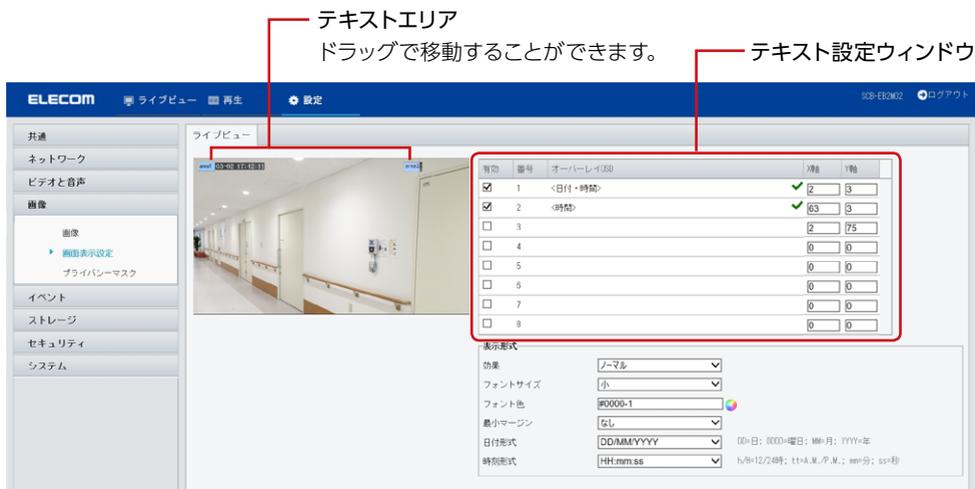
項目	内容
デフォグ	霧補正機能を使用するときは [ON] に設定します。
デフォグ 強度	霧補正レベルを設定します。

MEMO

- このパラメータを設定できるのは、WDRの設定が [OFF] になっているときだけです。
- 一部のカメラモデルのみが光学デフォグをサポートしています。
デフォグが [ON] に設定されている場合、デフォグ強度レベル6～9はオプティカルデフォグになります。デフォグ強度がレベル5から6に設定されている場合、画像はカラーから白黒に変わります。
- 「デフォグ」を「自動」に設定し、デフォグの強度レベルが6～9の間にある場合、画像は明るいフォグ状態で自動的に白黒に変わりません。カメラは濃霧状態でのみ自動的に光学デフォグに切り替わります。

画面表示設定

画面上に表示されるテキストを設定します。



項目	内容	
テキスト設定ウィンドウ	有効	チェックを入れると、画面上にテキストエリアが追加されます。
	番号	画面上のエリア番号に対応
	オーバーレイ OSD	テキストエリアに追加する項目を選択します。
	X 軸 / Y 軸	テキストエリアの場所を座標で設定します。
表示形式	テキストの表示形式を設定します。	

MEMO

チェックボックスにチェックを入れないで他の画面に移動した場合、設定した内容が保存されないことがあります。

プライバシーマスク

プライバシーマスクを作成することができます。
プライバシーマスクを設定するとその部分は黒塗りになり、映像に映らなくなります。

作成されたプライバシーマスク
ドラッグで移動することができます。

クリックした後、画面上をドラッグして
プライバシーマスクを作成します。

追加 削除

No.	名前
1	マスク1
2	マスク2

選択中のマスクを削除します。

映像内に動きや妨害行為を検知したときにアラームを出力したり、連動する動作を設定することができます。

標準アラーム

■ 動体検知

指定された矩形領域内のオブジェクトの動きを検出します。

検知モード設定

The screenshot shows the '設定' (Settings) page for motion detection. The '検知モード' (Detection Mode) is set to 'グリッド' (Grid). A red grid is overlaid on a video frame of a hallway. The 'アラーム出力' (Alarm Output) checkbox is checked. The 'スケジュール' (Schedule) section is set to '有効' (Effective). The 'アラームパラメータ' (Alarm Parameters) section shows 'アラーム抑止(秒)' (Alarm Suppression (sec)) set to 15 and 'アラーム解除(秒)' (Alarm Release (sec)) set to 5. The 'トリガー動作' (Trigger Action) section has 'アラーム出力' (Alarm Output) checked. The 'スケジュール' (Schedule) section has '有効' (Effective) selected.

項目	内容				
検知モード	検知モードを設定します。 「範囲」「グリッド」のいずれかを選択することで、他の項目の設定内容も変わってきます。				
	<table border="1"> <tr> <td>範囲</td> <td>検知範囲をエリアで設定します。 → 92 ページ [検知範囲設定ウィンドウ]</td> </tr> <tr> <td>グリッド (初期設定)</td> <td>検知範囲をグリッドで設定します。 → 90 ページ [検知グリッド設定ウィンドウ]</td> </tr> </table>	範囲	検知範囲をエリアで設定します。 → 92 ページ [検知範囲設定ウィンドウ]	グリッド (初期設定)	検知範囲をグリッドで設定します。 → 90 ページ [検知グリッド設定ウィンドウ]
	範囲	検知範囲をエリアで設定します。 → 92 ページ [検知範囲設定ウィンドウ]			
グリッド (初期設定)	検知範囲をグリッドで設定します。 → 90 ページ [検知グリッド設定ウィンドウ]				

検知グリッド設定ウィンドウ

[検知モード] を [グリッド] に設定すると、以下のグリッド設定ウィンドウが表示され、検知範囲をグリッドによって設定することができます。

再生 設定 300-ED2M02 ログアウト

動体検知 タンパリング 音声検知 アラーム入力 アラーム出力

検知モード **グリッド**

感度 低 高

アラームパラメータ

アラーム抑止(秒)

アラーム解除(秒)

トリガー動作

アラーム出力 録画 FTPアップロード Eメール通知

スケジュール

有効 無効 編集

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

月
火
水
木
金
土
日

保存

画面をドラッグして検出グリッドを設定します。
赤枠の範囲の中を検出します。

項目	内容	
感度	動体検知の感度を設定します。 感度の数値が高いほど（スライダが右にあるほど）、わずかな動きでも検知しやすくなります。	
アラームパラメータ	アラーム抑止(秒)	一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。
	アラーム解除(秒)	設定した時間内に同じアラームが発生しなかった場合、アラームはクリアされ、同じアラームが再度発生するようになります。

項目	内容								
トリガー動作	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="247 272 437 311">アラーム出力</td> <td data-bbox="441 272 1036 311">チェックを入れると、動体検知時にアラームが出力されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 316 437 354">録画</td> <td data-bbox="441 316 1036 354">チェックを入れると、動体検知時に録画が開始されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 359 437 413">FTP アップロード</td> <td data-bbox="441 359 1036 413">チェックを入れると、動体検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 418 437 874">E メール通知</td> <td data-bbox="441 418 1036 874"> <p>チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。</p> <p>MEMO</p> <p>E メールは以下のように英文で送信されます。 件名〔(送信者名) :Motion Detection〕 本文 「This is an automatically generated e-mail from your IPC EVENT TYPE: Motion Detection EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒) IPC NAME: (送信者名) IPC S/N: (カメラのデバイス番号)」</p> <p>※(送信者名)の部分には、Eメール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p> </td> </tr> </table>	アラーム出力	チェックを入れると、動体検知時にアラームが出力されます。	録画	チェックを入れると、動体検知時に録画が開始されます。	FTP アップロード	チェックを入れると、動体検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。	E メール通知	<p>チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。</p> <p>MEMO</p> <p>E メールは以下のように英文で送信されます。 件名〔(送信者名) :Motion Detection〕 本文 「This is an automatically generated e-mail from your IPC EVENT TYPE: Motion Detection EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒) IPC NAME: (送信者名) IPC S/N: (カメラのデバイス番号)」</p> <p>※(送信者名)の部分には、Eメール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p>
	アラーム出力	チェックを入れると、動体検知時にアラームが出力されます。							
	録画	チェックを入れると、動体検知時に録画が開始されます。							
	FTP アップロード	チェックを入れると、動体検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。							
E メール通知	<p>チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。</p> <p>MEMO</p> <p>E メールは以下のように英文で送信されます。 件名〔(送信者名) :Motion Detection〕 本文 「This is an automatically generated e-mail from your IPC EVENT TYPE: Motion Detection EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒) IPC NAME: (送信者名) IPC S/N: (カメラのデバイス番号)」</p> <p>※(送信者名)の部分には、Eメール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p>								
録画	チェックを入れると、動体検知時に録画が開始されます。								
FTP アップロード	チェックを入れると、動体検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。								
E メール通知	<p>チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。</p> <p>MEMO</p> <p>E メールは以下のように英文で送信されます。 件名〔(送信者名) :Motion Detection〕 本文 「This is an automatically generated e-mail from your IPC EVENT TYPE: Motion Detection EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒) IPC NAME: (送信者名) IPC S/N: (カメラのデバイス番号)」</p> <p>※(送信者名)の部分には、Eメール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p>								
スケジュール	<p>動体検知を有効にするスケジュールを設定します。 → 94 ページ「スケジュール編集ウィンドウ」</p>								

検知範囲設定ウィンドウ

[検知モード] を [範囲] に設定すると、以下の検知範囲設定ウィンドウが表示され、検知範囲を複数設定することができます。

ドラッグで検知範囲を移動することができます。

クリックした後、映像上をドラッグして検知範囲を追加します。

選択した検知範囲を削除します。

検出結果

検知モード: 範囲

検知範囲: 範囲1

範囲1: 感度 (低 ~ 高), 対象のサイズ (小 ~ 大)

アラームパラメータ: アラーム抑止(秒) 15, アラーム解除(秒) 5

トリガー動作: アラーム出力, 録画, FTPアップロード, Eメール通知

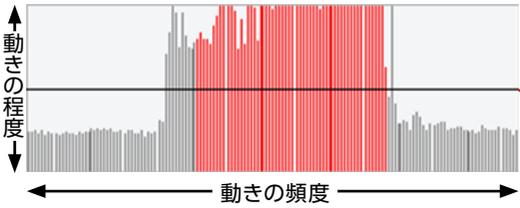
スケジュール: 有効, 無効

月 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24

火
水
木
金
土
日

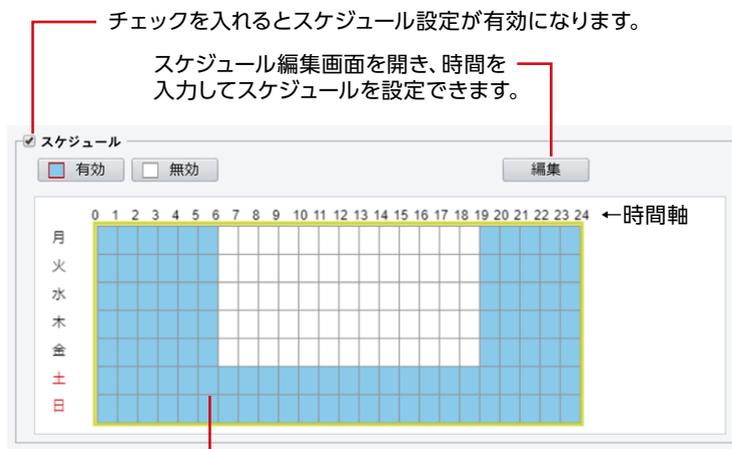
保存

項目	内容	
検知モード	範囲	検知範囲をエリアで設定します。 → 92 ページ [検知範囲設定ウィンドウ]
	グリッド (初期設定)	検知範囲をグリッドで設定します。 → 90 ページ [検知グリッド設定ウィンドウ]
感度	動体検知の感度を設定します。 感度の数値が高いほど (スライダが右にあるほど)、わずかな動きでも検知しやすくなります。	
対象のサイズ	検知範囲全体のサイズに対するオブジェクトのサイズの最小比率を指定します。 小さな動きを検出する場合は、検知範囲を小さめにし、[対象のサイズ] をなるべく [小] に近づける必要があります。	

項目	内容								
検出結果	<p>発生した動きがリアルタイムでグラフに表示されます。 動体検知アラームが発生すると、赤い線で表示されます。 線が長いほど動きの程度が大きいことを表します。 また、線の密度が濃いほど動きの頻度が高いことを表します。 (例)</p>  <p>対象のサイズ設定 この線を超えて動きを感知すると、アラームが発生します。 ※ この閾値ラインは目安です。ラインを超えても検知されない場合もあります。</p>								
アラームパラメータ	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="247 667 442 734">アラーム抑止 (秒)</td> <td data-bbox="445 667 1036 734">一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 738 442 805">アラーム解除 (秒)</td> <td data-bbox="445 738 1036 805">設定した時間内に同じアラームが発生しなかった場合、アラームはクリアされ、同じアラームが再度発生するようになります。</td> </tr> </table>	アラーム抑止 (秒)	一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。	アラーム解除 (秒)	設定した時間内に同じアラームが発生しなかった場合、アラームはクリアされ、同じアラームが再度発生するようになります。				
アラーム抑止 (秒)	一度目のアラームが検知された後、同じアラームが検知されても無視する時間を設定します。								
アラーム解除 (秒)	設定した時間内に同じアラームが発生しなかった場合、アラームはクリアされ、同じアラームが再度発生するようになります。								
トリガー動作	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="247 810 442 853">アラーム出力</td> <td data-bbox="445 810 1036 853">チェックを入れると、動体検知時にアラームが出力されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 858 442 893">録画</td> <td data-bbox="445 858 1036 893">チェックを入れると、動体検知時に録画が開始されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 898 442 957">FTP アップロード</td> <td data-bbox="445 898 1036 957">チェックを入れると、動体検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="247 962 442 1412">E メール通知</td> <td data-bbox="445 962 1036 1412"> <p>チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。</p> <p>MEMO E メールは以下のように英文で送信されます。 件名〔(送信者名) :Motion Detection〕 本文 [This is an automatically generated e-mail from your IPC EVENT TYPE: Motion Detection EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒) IPC NAME: (送信者名) IPC S/N: (カメラのデバイス番号)]</p> <p>※ (送信者名) の部分には、E メール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p> </td> </tr> </table>	アラーム出力	チェックを入れると、動体検知時にアラームが出力されます。	録画	チェックを入れると、動体検知時に録画が開始されます。	FTP アップロード	チェックを入れると、動体検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。	E メール通知	<p>チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。</p> <p>MEMO E メールは以下のように英文で送信されます。 件名〔(送信者名) :Motion Detection〕 本文 [This is an automatically generated e-mail from your IPC EVENT TYPE: Motion Detection EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒) IPC NAME: (送信者名) IPC S/N: (カメラのデバイス番号)]</p> <p>※ (送信者名) の部分には、E メール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p>
アラーム出力	チェックを入れると、動体検知時にアラームが出力されます。								
録画	チェックを入れると、動体検知時に録画が開始されます。								
FTP アップロード	チェックを入れると、動体検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。								
E メール通知	<p>チェックを入れると、動体検知時に E メールを送信します。</p> <p>MEMO E メールは以下のように英文で送信されます。 件名〔(送信者名) :Motion Detection〕 本文 [This is an automatically generated e-mail from your IPC EVENT TYPE: Motion Detection EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒) IPC NAME: (送信者名) IPC S/N: (カメラのデバイス番号)]</p> <p>※ (送信者名) の部分には、E メール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p>								
スケジュール	<p>動体検知を有効にするスケジュールを設定します。 → 94 ページ「スケジュール編集ウィンドウ」</p>								

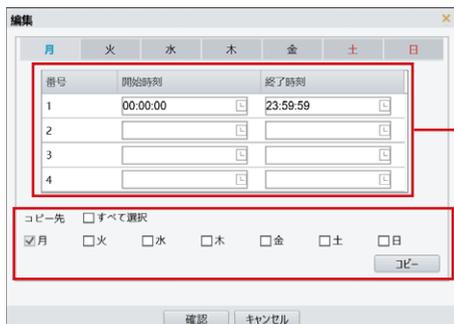
スケジュール編集ウィンドウ

検知を有効にするスケジュールを設定します。



[有効]または[無効] ボタンを押してからドラッグしてスケジュールを設定します。
検知が有効な時間帯が青色、無効な時間帯が白色で表示されます。

● スケジュール編集画面



曜日ごとに有効にする時間帯を設定します。

他の曜日に設定をコピーします。

■ タンパリング

タンパリング検知機能を有効にすると、カメラが覆われたときにアラームを出力します。初期設定では無効になっています。

項目	内容
タンパリング	タンパリング検知のオン/オフを選択します。
感度	タンパリング検知の感度を設定します。 感度の数値が高いほど（スライダが右にあるほど）、検知しやすくなります。
持続期間（秒）	タンパリングが何秒以上続いた場合にアラームが発生するかを設定します。

項目	内容		
トリガー動作	<p>タンパリングを検知したときにトリガーする動作にチェックを入れます。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="356 316 535 363">アラーム出力</td> <td data-bbox="539 316 1028 363">チェックを入れると、タンパリング検知時にアラームを出力します。</td> </tr> </table>	アラーム出力	チェックを入れると、タンパリング検知時にアラームを出力します。
	アラーム出力	チェックを入れると、タンパリング検知時にアラームを出力します。	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="356 386 535 434">録画</td> <td data-bbox="539 386 1028 434">チェックを入れると、タンパリング検知時に録画が開始されます。</td> </tr> </table>	録画	チェックを入れると、タンパリング検知時に録画が開始されます。
録画	チェックを入れると、タンパリング検知時に録画が開始されます。		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="356 456 535 504">FTP アップロード</td> <td data-bbox="539 456 1028 529">チェックを入れると、タンパリング検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。</td> </tr> </table>	FTP アップロード	チェックを入れると、タンパリング検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。	
FTP アップロード	チェックを入れると、タンパリング検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。		
スケジュール	<p>タンパリング検知を有効にするスケジュールを設定します。 → 94 ページ 「スケジュール編集ウィンドウ」</p>		

■ 音声検知 ※

音量の上昇または低下が設定限度を超えるか、または入力音量がしきい値に達したときに、アラームを出力させます。

設定前に、音声入力機器がカメラに正しく接続され、音声入力がオンになっていることを確認してください。

- ※ 電動可変焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M02)、電動可変焦点ドーム型カメラ (SCB-ED2M02) ・ 全方位4Kネットワークカメラ (SCB-EF4K03) のみ表示されます。
固定焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M01)、固定焦点ドーム型 (SCB-ED2M01) には音声機能がないため、本設定画面は表示されません。

項目	内容
音声検知	音声検知のオン/オフを選択します。
検知タイプ	音圧上昇 音量の上昇量が設定値を超えると、アラームが発生します。
	音圧下降 音量の低下量が設定値を超えると、アラームが発生します。
	音圧変化 音量の増減量が設定値を超えると、アラームが発生します。
	しきい値 音量がしきい値を超えると、アラームが発生します。
相違	[検知タイプ] に [音圧上昇]、[音圧下降]、[音圧変化] が設定されているときに、設定した値以上の音量差があるとアラームが発生します。
しきい値	[検知タイプ] に [しきい値] が設定されているときに、音量が設定したしきい値を超えるとアラームが発生します。

MEMO 相違の数値は、入力された音声のレベルを基にした相対的な数値となります。音声検知をONにすると、実際に入力されている音声が発音検知結果のグラフに表示されます。グラフ内の数値がどこまで伸びるかを数値の参考として、相違・しきい値の数値を設定ください。

項目	内容						
トリガー動作	<p>音声検知したときにトリガーする動作にチェックを入れます。</p> <table border="1" data-bbox="348 304 1031 528"> <tr> <td data-bbox="348 304 535 368">アラーム出力</td> <td data-bbox="542 304 1031 368">チェックを入れると、音声アラーム検知時にアラームが出力されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="348 378 535 442">録画</td> <td data-bbox="542 378 1031 442">チェックを入れると、音声アラーム検知時に録画が開始されます。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="348 451 535 528">FTP アップロード</td> <td data-bbox="542 451 1031 528">チェックを入れると、音声アラーム検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。</td> </tr> </table> <p>E メール通知</p> <p>MEMO E メールは以下のように英文で送信されます。 件名 [(送信者名):Audio Detection] 本文 [This is an automatically generated e-mail from your IPC EVENT TYPE: Audio Detection EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒) IPC NAME: (送信者名) IPC S/N: (カメラのデバイス番号)] ※ (送信者名) の部分には、E メール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p>	アラーム出力	チェックを入れると、音声アラーム検知時にアラームが出力されます。	録画	チェックを入れると、音声アラーム検知時に録画が開始されます。	FTP アップロード	チェックを入れると、音声アラーム検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。
アラーム出力	チェックを入れると、音声アラーム検知時にアラームが出力されます。						
録画	チェックを入れると、音声アラーム検知時に録画が開始されます。						
FTP アップロード	チェックを入れると、音声アラーム検知時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。						
スケジュール	<p>音声検知を有効にするスケジュールを設定します。 → 94 ページ「スケジュール編集ウィンドウ」</p>						
音声検知結果	<p>検知した音量がリアルタイムでグラフに表示されます。音声検知アラームが発生すると、赤い線で表示されます。線が長いほど音量が大きいことを表します。</p>  <p>※ この閾値ラインは目安です。ラインを超えても検知されない場合があります。</p>						

■ アラーム入力※

サードパーティ製のデバイスからアラーム情報を入力できます。

この機能を使用するには、最初にアラーム入力に関する情報を設定する必要があります。

※ 電動可変焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M02)、電動可変焦点ドーム型カメラ (SCB-ED2M02) ・ 全方位4Kネットワークカメラ (SCB-EF4K03) のみ表示されます。

固定焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M01)、固定焦点ドーム型 (SCB-ED2M01) には音声機能がないため、本設定画面は表示されません。

The screenshot shows the 'アラーム入力' (Alarm Input) configuration page. It features a sidebar with navigation links and a main content area with the following elements:

- アラーム選択:** A dropdown menu currently set to 'アラーム入力1'.
- アラーム名:** A text input field containing '1'.
- アラームID:** An empty text input field.
- アラームタイプ:** A dropdown menu set to '常時オン'.
- アラーム入力:** Radio buttons for 'ON' (selected) and 'OFF'.
- トリガー動作:** Checkboxes for 'アラーム出力', '録画', 'FIPアップロード', and 'Eメール通知'.
- スケジュール:** A section with '有効' (checked) and '無効' options, and a '編集' button. Below is a calendar grid for the month of January (月), with days 0 through 24. The grid is currently empty.
- 保存:** A blue button at the bottom left of the main content area.

項目	内容
アラーム選択	入力するアラームを選択します。
アラーム名	アラーム名とアラーム ID を入力します。
アラーム ID	
アラームタイプ	常時オン、または常時オフを選択します。
アラーム入力	ON にチェックを入れるとアラーム入力が有効になります。

項目	内容	
トリガー動作	アラーム出力	チェックを入れると、アラーム入力時にアラームが出力されます。
	録画	チェックを入れると、アラーム入力時に録画が開始されます。
	FTP アップロード	チェックを入れると、アラーム入力時に自動的にスナップショットを指定の FTP サーバーにアップロードします。
	E メール通知	<p>チェックを入れると、アラーム入力時にEメールを送信します。</p> <p>MEMO</p> <p>E メールは以下のように英文で送信されます。</p> <p>件名「(送信者名):System Alarm」</p> <p>本文</p> <p>「This is an automatically generated e-mail from your IPC</p> <p>EVENT TYPE: System Alarm</p> <p>EVENT TIME: (アラーム発生年月日・時分秒)</p> <p>IPC NAME: (送信者名)</p> <p>IPC S/N: (カメラのデバイス番号)」</p> <p>※ (送信者名) の部分には、E メール設定で設定した「送信者名」の文字列が入ります。</p>
スケジュール	アラーム入力を有効にするスケジュールを設定します。 → 94 ページ「 スケジュール編集ウィンドウ 」	

■ アラーム出力 ※

サードパーティ製のデバイスにアラーム情報を出力します。

- ※ 電動可変焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M02)、電動可変焦点ドーム型カメラ (SCB-ED2M02) ・ 全方位4Kネットワークカメラ (SCB-EF4K03) のみ表示されます。
固定焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M01)、固定焦点ドーム型 (SCB-ED2M01) には音声機能がないため、本設定画面は表示されません。

項目	内容
アラーム選択	出力するアラームを選択します。
アラーム名	アラーム名を設定します。
デフォルトステータス	常時オン、または常時オフを選択します。
遅延 (秒)	アラーム検知してからアラームを発生させるまでの時間を設定します。
スケジュール	アラーム出力を有効にするスケジュールを設定します。 → 94 ページ「 スケジュール編集ウィンドウ 」

ストレージ

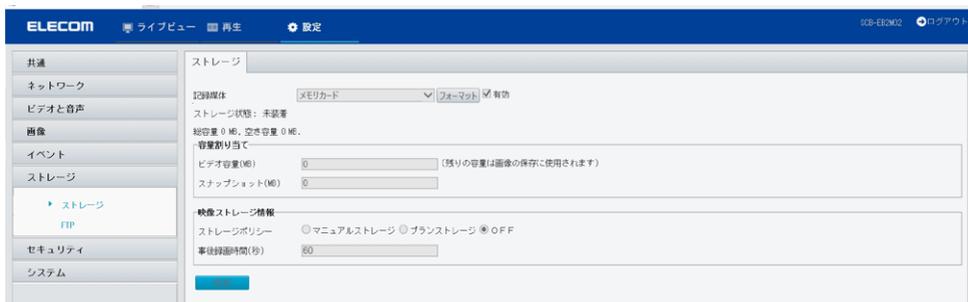
ストレージ※

本製品に取り付けられた microSD カードに映像を保存することができます。(microSD カードへの映像録画は、補助的な録画先としてお使いください。)

※ 固定焦点ドーム型 (SCB-ED2M01)、電動可変焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M02)、電動可変焦点ドーム型カメラ (SCB-ED2M02) ・全方位 4K ネットワークカメラ (SCB-EF4K03) のみ表示されます。固定焦点バレット型カメラ (SCB-EB2M01) には microSD スロットがないため、本設定画面は表示されません。

重要

本製品の電源をオフにするときは、必ず [ストレージポリシー] を [OFF] に設定し、SD カード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、SD カードのデータが破損する可能性があります。



項目	内容			
記録媒体	ストレージリソースの種類を選択します。			
	<table border="1"><tr><td>フォーマット</td><td>本製品に接続されている microSD カードがフォーマットされます。フォーマットが完了すると、システムが再起動します。</td></tr><tr><td>有効</td><td>チェックを入れると、映像を録画し、本製品に接続されている microSD カードに保存されます。</td></tr></table>	フォーマット	本製品に接続されている microSD カードがフォーマットされます。フォーマットが完了すると、システムが再起動します。	有効
フォーマット	本製品に接続されている microSD カードがフォーマットされます。フォーマットが完了すると、システムが再起動します。			
有効	チェックを入れると、映像を録画し、本製品に接続されている microSD カードに保存されます。			
容量割り当て	映像に割り当てる容量を設定します。			
	<table border="1"><tr><td>スナップショット (MB)</td><td>スナップショットに割り当てられる容量が表示されます。全体の容量から設定したビデオ容量を引いた容量になります。変更はできません。 ※ この設定項目は将来の機能拡張のために準備しています。現在は microSD カードへのスナップショット画像保存は行えません。</td></tr></table>	スナップショット (MB)	スナップショットに割り当てられる容量が表示されます。全体の容量から設定したビデオ容量を引いた容量になります。変更はできません。 ※ この設定項目は将来の機能拡張のために準備しています。現在は microSD カードへのスナップショット画像保存は行えません。	
スナップショット (MB)	スナップショットに割り当てられる容量が表示されます。全体の容量から設定したビデオ容量を引いた容量になります。変更はできません。 ※ この設定項目は将来の機能拡張のために準備しています。現在は microSD カードへのスナップショット画像保存は行えません。			

項目	内容	
映像ストレージ 情報	ストレージポリシー	<p>マニュアルストレージ 映像をつねに録画します。</p> <p>プランストレージ スケジュール設定に応じて録画します。 → 94 ページ「スケジュール編集ウィンドウ」</p> <p>OFF 録画しません。</p>
	ストリーム	録画するストリームを選択します。
映像ストレージ 情報	ストレージが一杯のとき	<p>上書き 容量が一杯になると、古い録画データを消去して新しい録画データを上書きします。</p> <p>停止 容量が一杯になると、録画を停止します。</p>
	事後録画時間 (秒)	アラームによる録画の場合に、アラームが終了してから録画が継続する時間の長さを設定します。

FTP

FTP サーバーに自動的に画像をアップロードすることができます。

The screenshot shows the following configuration details:

- サーバーパラメーター:**
 - サーバーIP: 192.168.0.150
 - ポート番号: 21
 - ユーザー名: [空]
 - パスワード: [隠されたパスワード]
 - 画像アップロード:
 - 上書き:
 - 上書き(画像保存数): 1000
 - テスト: [ボタン]
- スナップショットイメージ:**
 - 保存: ルートディレクトリ
 - ルートディレクトリ: [無効] \ [無効] \ [無効] \ [無効]
 - ファイル名: [空]
 - 区切り記号: [空]
 - 番号と命名規則のリスト:

番号	命名規則
1	[なし]
2	[空]
3	[空]
4	[空]
5	[空]

メモ: 現在のディレクトリに上書きされます

項目	内容	
サーバーパラメーター	サーバー IP	FTP サーバー情報を入力します。
	ポート番号	
	ユーザー名	
	パスワード	
	画像アップロード	チェックを入れると、スナップショット画像もアップロードします。
	上書き	チェックを入れると、画像数が指定した数に達すると、古いデータを上書きして保存します。
	上書き(画像保存数)	[上書き] にチェックがされている場合、画像ファイル数の上限を指定します。
	テスト	FTP サーバーへの接続テストを行います。
スナップショットイメージ	保存	データを保存するディレクトリを指定します。
	ファイル名	ファイル名の命名規則を設定します。

MEMO

スナップショット画像を保存するには別途スナップショットの設定が必要です。
 → 47 ページ「スナップショット画像を保存する」

ユーザー

ユーザーを追加、削除、またはユーザー権限を編集します。管理者だけがこれらの操作を実行できます。

[追加] 画面が表示され、ユーザーを追加します。

選択中のユーザーのパスワードを変更します。

選択中のユーザーを削除します。
管理者は削除できません。



ユーザー追加画面

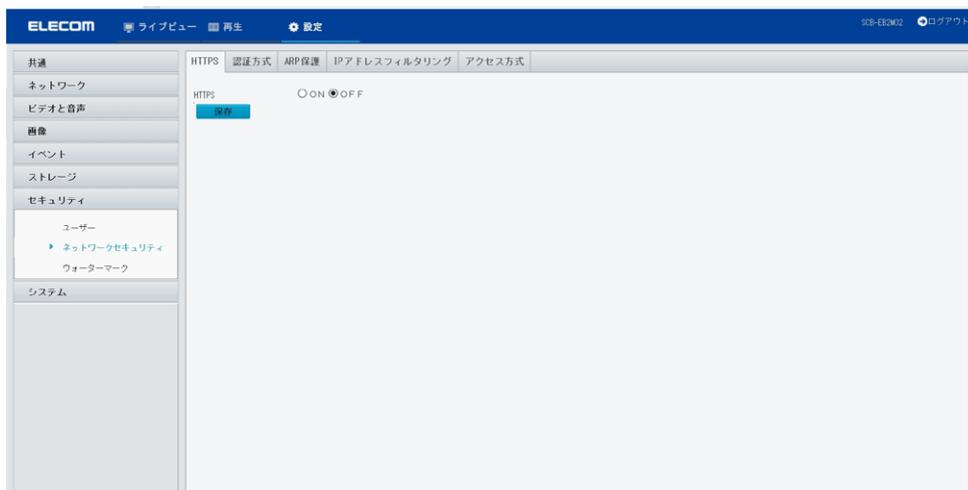


項目	内容
ユーザー名	32文字以内でユーザー名を設定します。 英数字（大文字、小文字）と一部の記号（ <code>_</code> 、 <code>-</code> 、 <code>+</code> ）のみ入力できます。
ユーザータイプ	追加できるユーザーは「一般ユーザー」のみです。 一般ユーザーは、カメラの設定変更は行えず、ライブビュー視聴とローカル PC へのスナップショット・映像保存のみ可能です。
パスワード	32文字以内でパスワードを設定します。 英数字（大文字、小文字）と一部の記号（ <code>_</code> 、 <code>-</code> ）のみ入力できます。 パスワードの強度が下に表示されます。
確認	確認のためパスワードを再度入力します。

ネットワークセキュリティ

■ HTTPS

セキュリティを確保するためにHTTPSを使用することができます。



項目	内容
HTTPS	HTTPSを使用する場合はONを選択します。
SSL証明	必要に応じてカスタムSSL証明書をインポートすることができます。

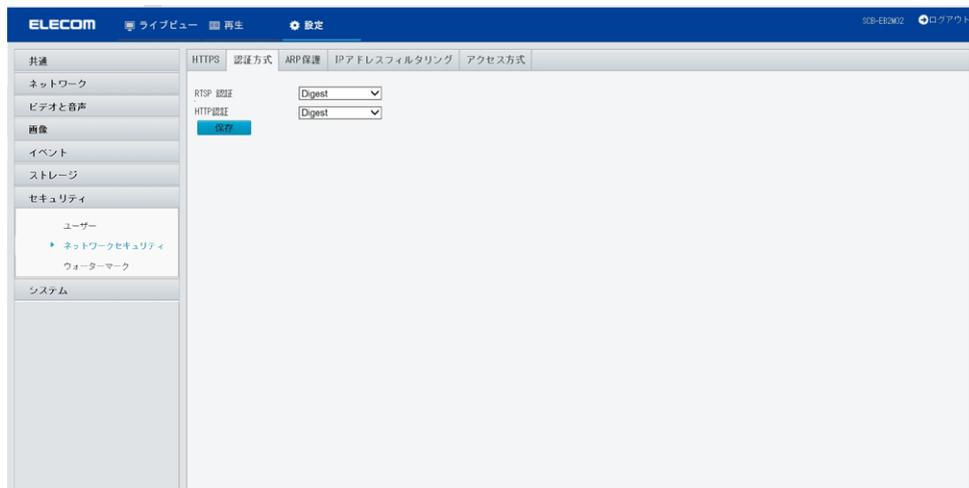
MEMO

HTTPS通信を使用する場合は、[ネットワーク] – [ポート設定]の[HTTPSポート]も設定してください。

設定後、「https://(IPアドレスまたはドメイン名)」にアクセスしてください。

■ 認証方式

本画面は将来の機能拡張のため設定画面を用意しています。
初期設定のまま変更せずご利用ください。



■ ARP 保護

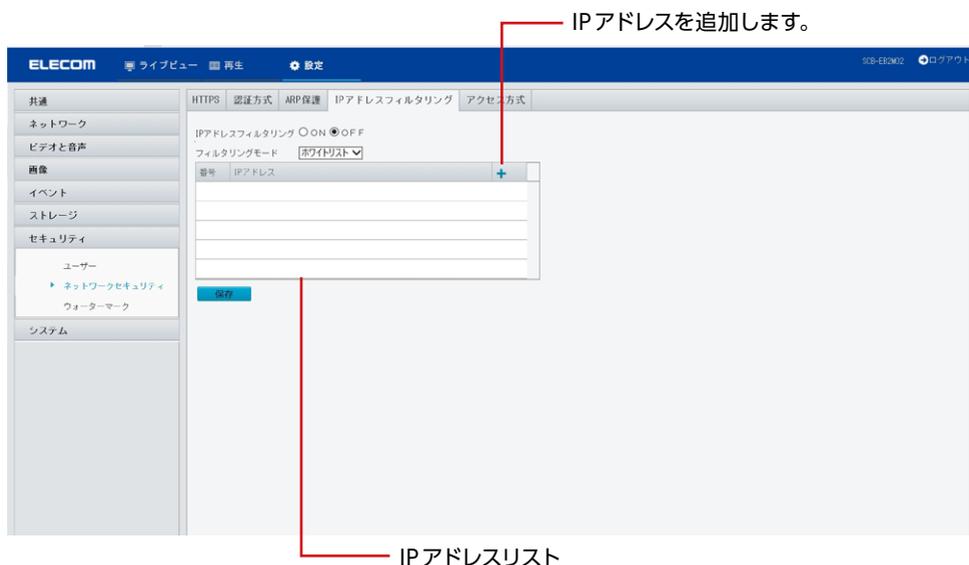
ARP 保護機能を有効にすると、すべてのアクセス要求でゲートウェイの MAC アドレスを検証し、ARP 攻撃を防ぐことができます。



項目	内容
ARP 保護	[ON] にチェックを入れると、ARP 保護機能が有効になります。
ゲートウェイアドレス	ゲートウェイの IP アドレスが表示されます (変更不可)
ゲートウェイ MAC アドレス	ゲートウェイの MAC アドレスを入力します。

■ IPアドレスフィルタリング

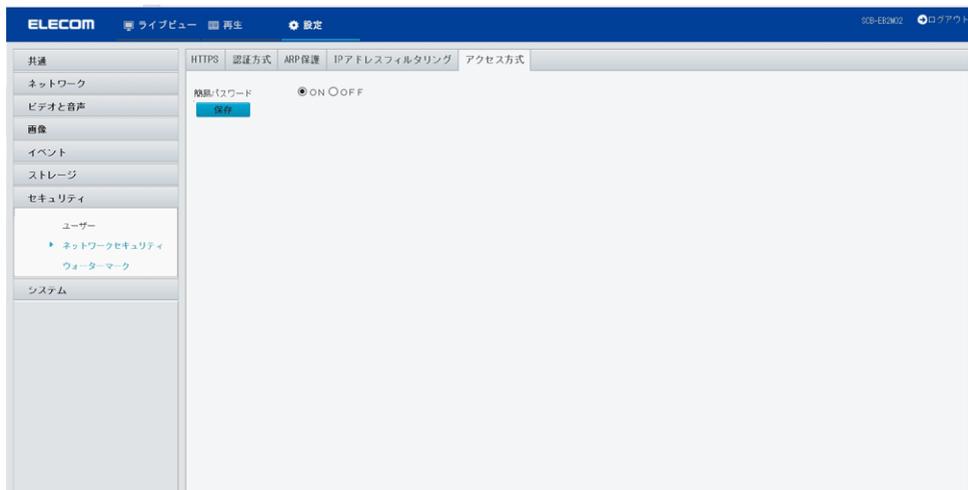
指定したIPアドレスからのみアクセスを許可したり、指定したIPアドレスのアクセスを拒否するときに設定します。



項目	内容	
IP アドレス フィルタリング	[ON] を選択すると、IP アドレスフィルタリング機能が有効になります。	
フィルタリングモード	ホワイトリスト	指定した IP アドレスのみのアクセスを許可します。
	アクセス拒否	指定した IP アドレスのアクセスを拒否します。
IP アドレスリスト	<p>最大 32 個まで登録できます (重複不可)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 各 IP アドレスの最初のバイトは 1 ~ 233 のみ指定できます。 ● 4 番目のバイトは 0 にはできません。 	

■ アクセス方式

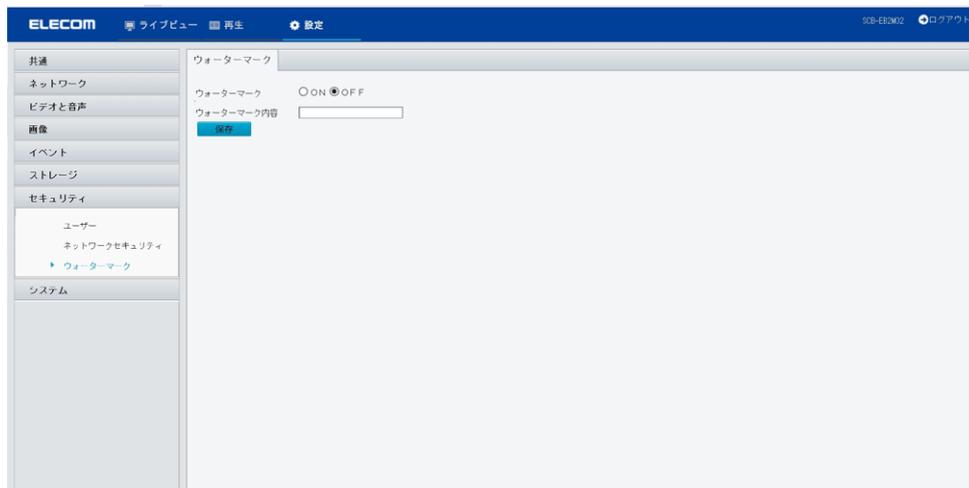
アクセスするときの設定を行います。



項目	内容
簡単なパスワード	OFF にして弱いパスワードでログインすると、パスワードの変更を促すページが表示されます。
MAC 認証	MAC 認証を使用するときに [ON] にします。

ウォーターマーク

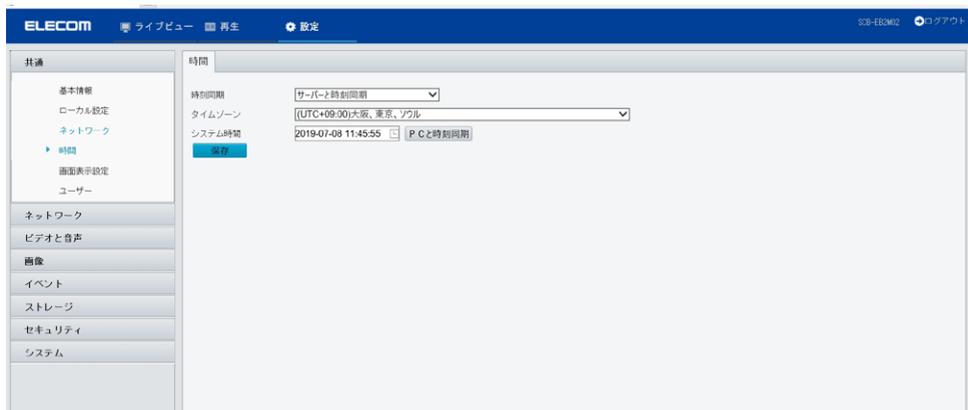
不正な変更を防ぐために録画映像に電子的な「透かし」を入れることができます。



項目	内容
ウォーターマーク	ウォーターマーク機能のオン/オフを選択します。
ウォーターマーク内容	透かしの内容を設定します。

時間

本製品の時間設定を行います。



項目	内容
時刻同期	時間の同期方法を設定します。 [NTP サーバーと同期] を選択した場合は、NTP サーバーの情報を入力します。 NTP サーバーのアドレスは、IP アドレスで指定してください。サーバー名のみで IP アドレスがわからない場合は、nslookup コマンドなどで確認した IP アドレスを指定ください。
タイムゾーン	タイムゾーンを選択します。
システム時間	[PC と時刻同期] をクリックして、カメラの時刻設定を PC の時刻設定と同期させることもできます。

MEMO

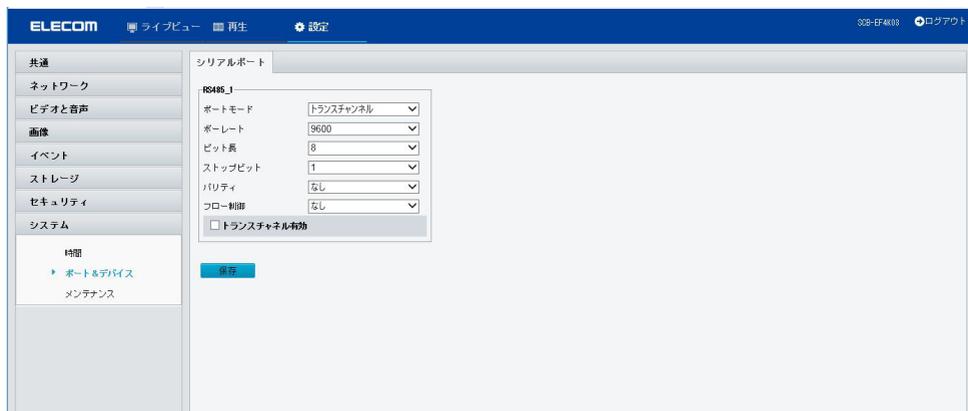
カメラ単体で利用している場合、電源を切ると日時設定が保持されず、日時がずれた状態になります。電源を切った後で、再度電源を入れて利用する場合は、NTP サーバーと時刻同期するなど日時の設定を実施してください。

- システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。

ポート&デバイス

将来の機能拡張のため、設定画面はありますが、本画面の機能は現在は利用できません。

※ この画面は全方位4Kネットワークカメラ (SCB-EF4K03) のみ表示されます。



メンテナンス

ファームウェアの更新やシステムを初期設定に戻すことができます。

項目	内容	
ファームウェア更新	ファームウェアファイルを選択し、[アップグレード] をクリックしてファームウェアを更新します。 ブートプログラムもアップグレードしたい場合は、[ブートプログラムをアップグレード] にチェックを入れます。	
デバイス再起動	[再起動] をクリックすると、システムを再起動します。	
システム設定	工場出荷設定	クリックすると、管理者のログインパスワード、ネットワーク設定、システム時刻を除いて、すべての設定が工場出荷時の設定に戻ります。
	設定の読み出し	書き出した設定を読み込んで復元します。
	設定の書き出し	現在の設定を書き出します。
診断情報	[書き出し] をクリックすると、ログ情報とシステム構成をダウンロードできます。 [画像デバッグ情報収集] にチェックを入れると、デバッグ情報も同時にダウンロードします。	
電源出力 (ED2M02 のみ)	本設定は将来の機能拡張用の設定となります。 通常は初期値「OFF」のままご利用ください。	
周波数設定 (ED2M02、EB2M02、 ED2M01、EB2M01 のみ)	本設定は将来の機能拡張用の設定となります。 通常は初期値のままご利用ください。	

※ システム設定の読み込みを行っても、タイムゾーンは引き継がれません。変更を行っていた場合は、読み込み後に再設定してください。

こんなときは

ファームウェアを更新したい.....	116
プラグインをインストールするメッセージが 表示されない.....	117
管理画面にアクセスするパスワードを変更したい.....	118
ActiveXのインストールに失敗した場合.....	119
ネットワークカメラの映像に横縞(フリッカー)が出る.....	121
ライブ映像が表示されない.....	123
ネットワークレコーダーに接続しているカメラの Web設定画面にアクセスしたい.....	124
魚眼カメラを「魚眼+4PTZ」に設定したとき、 PTZモードのカメラの映像が回転し続ける.....	126

プラグインをインストールするメッセージが表示されない

- 1 Windowsのスタートメニューをクリックし、
[設定]アイコンをクリックします。



- 2 検索欄に[uac]と入力して検索し、
[ユーザーアカウント制御設定の変更]をクリックします。



- 3 スライダを[通知しない]に移動し、[OK]をクリックします。



- 4 再度管理画面にアクセスします。

管理画面にアクセスするパスワードを変更したい

- 1 管理画面から[設定] - [共通] - [ユーザー] をクリックします。
- 2 [ユーザー] 画面が表示されますので、パスワードを変更したいユーザーを選択し、[編集] をクリックします。



- 3 [ユーザー追加] 画面が表示されますので、[パスワード] と [確認] 欄にパスワードを入力し、[確認] をクリックします。

The screenshot shows a dialog box titled '編集' (Edit). It contains the following fields: 'ユーザー名' (User Name) with the value 'admin', 'ユーザータイプ' (User Type) with a dropdown menu showing '管理者' (Administrator), 'パスワード' (Password) with an empty input field, and '確認' (Confirm) with an empty input field. Below the password field, there are three indicators: '弱' (Weak), '中' (Medium), and '強' (Strong). The '確認' button is circled in red.

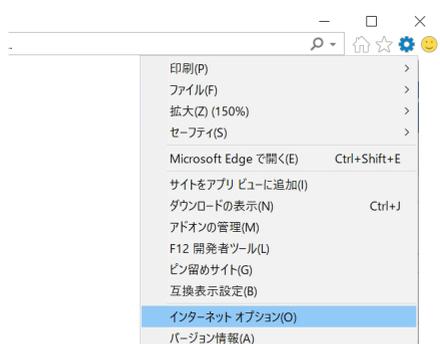
項目	内容
パスワード	32文字以内でパスワードを設定します。 英数字(大文字、小文字)と一部の記号(、-)のみ入力できます。 パスワードの強度が下に表示されます。
確認	確認のためパスワードを再度入力します。

ActiveXのインストールに失敗した場合

インストールに失敗したときは、カメラのIPアドレスを信頼済みサイトに追加します。

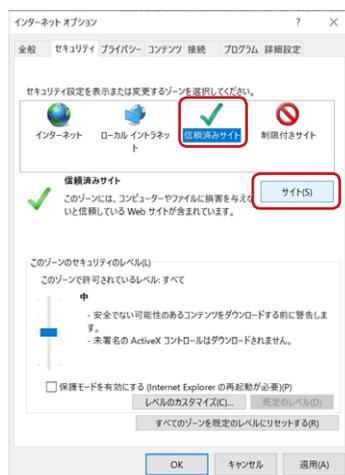
- Windows 7を使用している場合は、setup.exeをPCに保存した後、ファイルを右クリックして[管理者として実行]を選択し、指示に従ってインストールしてください。

1 Internet Explorerの設定メニューの[インターネットオプション]を選択します。

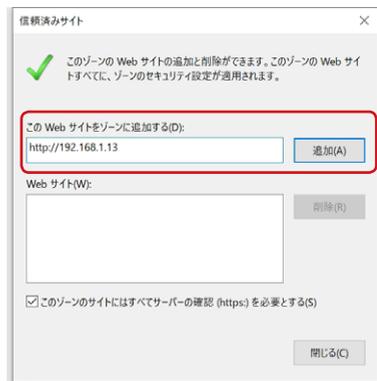


2 [セキュリティ]タブをクリックします。

3 [信頼済みサイト]を選択し、[サイト]をクリックします。

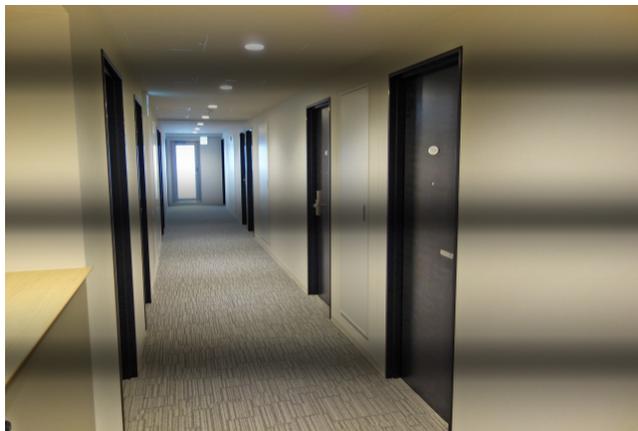


4 カメラの IP アドレスを入力し、
[追加] をクリックします。



ネットワークカメラの映像に横縞(フリッカー)が出る

蛍光灯の光などが映像に入ると、以下のような横縞が発生する場合があります。(図はイメージです)



多くの場合、横縞が上方向または下方向に動きます。

フリッカーは、蛍光灯の状態、設置環境などで発生パターンが異なります。状態によっては100%抑制することができない場合があります。また、カメラを設置する際、まず照明の位置、種類を確認し、フリッカーの出やすい設置場所を避けることが一番の有効な回避手段となります。

設置場所や照明の種類を変えられない場合は、次ページの方法をお試しください。

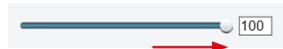
● [露出モード] を以下のように設定すると軽減することがあります。

Web 管理画面：[設定] — [画像] — [画像] — [露出] タブ

※ ELECOM 製ネットワークレコーダーに接続して使用している場合は、ネットワークレコーダーの設定画面から設定してください（設定方法はネットワークレコーダーのユーザーズマニュアルをご参照ください）。



[露出モード] を設定しても改善しない場合は、[補正]を「100」にしてお試しください。



地域	使用環境	設定値
東日本 (50Hz エリア)	屋外	変更なし
	屋内	屋内 50Hz
西日本 (60Hz エリア)	屋外	変更なし
	屋内	屋内 60Hz

WDR (明暗補正) を ON にするとフリッカーがより目立ちます。必須でない場合は、OFF に設定してください。

ライブ映像が表示されない

パソコンのファイアウォール機能を停止してから再度管理画面にログインしてください。

ネットワークレコーダーに接続しているカメラの Web 設定画面にアクセスしたい

カメラの基本的な操作・設定は、ネットワークレコーダーの設定画面から行ってください。(設定方法はネットワークレコーダーのユーザーズマニュアルを参照してください)
ネットワークレコーダーの設定画面では設定が行えない microSD カード設定などを行う場合に、以下の方法でカメラの Web 設定画面にアクセスしてください。

① ネットワークレコーダーの Web 設定画面にログインします。

- 管理用 PC で Internet Explorer を開き、以下のページを表示します。

<http://192.168.1.30>

ログイン画面が表示されたら、ユーザー名とパスワードを入力してログインします。

- 管理用 PC の IP アドレスを「192.168.1.100」など同じネットワークセグメント内に設定し、ブラウザから上記アドレスにアクセスしてください。
- DHCP サーバーなどがあって IP アドレスが変更になっているときは、ネットワークレコーダーに割り振られている IP アドレスでアクセスしてください。

② 「カメラステータス」-「カメラステータス」画面を開きます。

The screenshot shows the ELECOM web interface. The left sidebar has a menu with 'カメラステータス' (Camera Status) selected. The main content area shows the 'カメラステータス' (Camera Status) page with a '詳細設定' (Detailed Settings) sub-tab. Below the settings, there is a table with columns: 番号 (No.), カメラID (Camera ID), アドレス (Address), ポート (Port), リモートカメラID (Remote Camera ID), プロトコル (Protocol), 状態 (Status), ベンダー (Vendor), 型番 (Model No.), 設定 (Settings), and アクセス (Access). The 'アクセス' column for all four cameras is highlighted with a red box.

番号	カメラID	アドレス	ポート	リモートカメラID	プロトコル	状態	ベンダー	型番	設定	アクセス
1	01	172.16.0.6	80	1	ONVIF	ON	-	SCB-EBZM02		アクセス
2	02	172.16.0.7	80	1	ONVIF	ON	-	SCB-EBZM01		アクセス
3	03	172.16.0.8	80	1	ONVIF	ON	-	SCB-EBZM01		アクセス
4	04	172.16.0.2	81	1	プライ...	ON				アクセス

③ リストを右にスクロールさせて該当カメラの一番右欄にある「アクセス」をクリックします。

該当カメラのWeb 設定ログイン画面が表示されます。

- Internet Explorerは管理者モードで実行してください。プラグインのインストールと実行が正しく行えない場合があります。
- この方法でログインする場合、1台のカメラだけがライブビュー画面を表示可能です。複数カメラのライブビュー画面を表示することはできません。
- ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合にカメラの設定画面でネットワークレコーダーの設定と矛盾する設定を行った場合、意図しない動作をする可能性があります。

ネットワークレコーダーと組み合わせて使用する場合は、カメラの設定画面から設定変更することは避けてください。

魚眼カメラを「魚眼+ 4PTZ」に設定したとき、PTZモードのカメラの映像が回転し続ける

回転しているカメラに対して、再度PTZ操作を実施してください。
PTZ操作を行っているマウスカーソルが画面外にある時にクリックを離すと、映像が回転し続けてしまう場合があります。

付録編

安全上のご注意	128
使用上のご注意	131
設置上のご注意	134
このマニュアルについて	136
動作環境	137
パソコンのIPアドレスの確認方法	138
Windows 10の場合	138
製品の保証について	140
製品の保証とサービス	140
サポートサービスについて	141

安全上のご注意

製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項に従って正しくご使用ください。

本製品は、人命にかかわる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係）への組み込みは考慮されていません。これらの機器での使用により、人身事故や財産損害が発生しても、弊社はいかなる責任も負いかねます。

■表示について

この「安全上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。
 注意	この表示を無視して取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。
	丸に斜線のマークは製品を取り扱う際にしてはいけないこと（禁止事項）を意味します。
	塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。

警告

 **本体から異臭や煙が出たときは、使用を中止し、販売店に相談する。**

 **工事は販売店に依頼する。**
工事には技術と経験が必要です。
火災、感電、けが、器物損壊の原因となりますので、必ず販売店に依頼してください。

 **定期的に点検する。**
金具やネジがさびると、落下によるけがや事故の原因となりますので、点検は販売店に依頼してください。

 **振動のないところに設置する。**
取り付けネジやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。



配線は電源を切ってから行う。

感電の原因になります。

また、ショートや誤配線により火災の原因になります。



人がぶつからない高さに取り付ける。

けがの原因となります。



配線は正しく行う。

感電の原因になります。

また、ショートや誤配線により火災の原因となります。



落下防止対策を施す。

落下によるけがの原因となりますので、落下防止ワイヤーなどを追加してカメラの落下防止対策をしてください。



お子様の手の届かない場所に設置する。

落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



異物を入れない。

本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

※ 万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源を切って使用を中断する。

感電、火災、故障の原因となります。



可燃性ガスが充満した環境下で使用しない。

本体から異臭や煙が出た時は、ただちに使用を中止し販売店にご相談ください。



水気の多い場所で使用したり、濡れた手で取り扱わない。

感電・火災の原因となります。



分解したりしない。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。

分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。

 **注意**



お手入れのときは電源をお切りください。けがの原因となります。



高い所に設置する時は、落ちないように充分注意してください。
けがの原因となります。



不安定な場所、ぐらついたり振動する場所や傾いた場所には設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



金属のエッジで手をこすらないでください。
強くこするとけがの原因となります。

使用上のご注意

〈対応ネットワークレコーダー〉

- 本製品は、ELECOM製のSRBシリーズのネットワークレコーダーに対応しています。(SCB-EF4K03は、SRB-E08201シリーズまたはSRB-E16201シリーズにのみ対応です。SRB-E04101シリーズには非対応となります。)

〈時計機能〉

- 本製品は、日付や時刻などの時計情報が保持されません。
使用するときは、ネットワークレコーダーと同期をとる設定(ネットワークレコーダーの工場出荷時設定)か、パソコンなどから時刻設定をする必要があります。

〈お手入れ時〉

- お手入れするときは電源をOFFにしてください。
- ベンジン・シンナーなどの有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。
変色などの原因になります。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。

〈使用・取り扱いについて〉

- 長期間の使用に関して、安全にお使い頂くために専門業者による定期点検をお願いします。長期間使用すると外観上は異状がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障、事故につながる可能性があります。
- 本製品の日本国外での使用は禁じられています。ご利用いただけません。日本国外での使用による結果について弊社は、一切の責任を負いません。また本製品について海外での(海外からの)保守、サポートは行っておりません。
- 本製品を使用した結果によるお客様のデータの消失、破損など他への影響につきましては、責任は負いかねますので、ご了承ください。重要なデータについてはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。(microSD内のデータも含む)
- 潮風は保証の対象外となります。
- 防爆機能はありません。
- 本製品に電源スイッチはありませんので、電源を切る場合は、PoE給電装置の電源をOFFにしてください。
- 本製品の取扱いは慎重にお願いいたします。落としたり、強い衝撃または振動を与えたりしないでください。破損や故障の原因になります。
- 筐体に強い衝撃や振動を与えますと、故障、浸水の原因になります。
- 使用するPCのモニター上に長時間同じ画像を表示させると、モニターに損傷を与えることがあります。スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ご利用のネットワーク環境、PC性能、被写体、アクセス数により、画像更新速度が遅くなる場合があります。

- ネットワークカメラを小刻みに振動する場所（たとえば振動する機器の近くなど）へ設置した場合には、周期的に画面が縦方向に伸び縮みするようにゆがむ現象が発生することがございます。これは撮像素子にCMOSセンサーを使用していた場合に発生する特有の現象であり、画面の周期的な動きとイメージセンサーからの画像の読み出しタイミングとの関係により発生するものですので、ネットワークカメラの異常ではありません。設置状態を再確認し、ネットワークカメラ本体を安定した場所に設置すると現象が軽減します。
- 画面の一部分にスポット光のような明るい部分があると、CMOSセンサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えた場合など、前の画面にスポット光があると変色して残ります。
- 動きの速い物体を写した場合には、画面を横切る物体が斜めに曲がって見えることがあります。
- コネクター部は自己融着テープ（別売り）などで防水処理を行ってください。
- 設置やお手入れの際は電源をOFFにしてから行ってください。
- 電源はエレコム製のPoE製品をご使用ください。
- 設置したケーブルは、日光や雨風が直接当たらないようにモールなどで覆ってください。
- カメラの解像度を4対3の比率になる設定にした場合、映像は左右方向が圧縮され縦長に表示されます。
- ケースが変色することがありますので、ベンジン・シンナーなど有機溶剤をかけたり、使用したりしないでください。化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従って行ってください。
- 本製品の識別および電源、その他の表示は機器に貼り付けてあるラベルをご確認ください。
- 高温・多湿の場所、直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。
- 本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用／保管は避けてください。
- ラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与えることがあります。また、近くにモーター等の強い磁界を発生する装置がありますとノイズが入り、誤動作する場合があります。必ず離してご使用ください。
- 外的要因などにより、まれに録画できない場合が発生します。随時、録画状態の確認をしてください。

〈ブラウザ録画について〉

- ブラウザーを使った録画は、設置のときの映像の確認などに使用するものです。監視映像の録画には、ネットワークレコーダーをご使用ください。

〈microSDの取り扱いについて〉

- microSDカードを取り外す際は必ず電源を切ってから取り外してください。
- 本製品では、microSDカードのホットスワップに対応していません。microSDカードを交換する場合には、本製品の電源を切って交換し、電源投入後に、microSDカードのフォーマットを実行してください
- microSDカードを使用する場合は、本機でmicroSDカードをフォーマットしてから使用してください。フォーマットすると、記録されていた内容は消去されます。未フォーマットのmicroSDカードや本機以外でフォーマットしたmicroSDカードを使用すると、正常に動作しないことや、性能低下することがあります。フォーマットの仕方は、43ページ「運用編」をお読みください。
- 一部のmicroSDカードは本製品で使用すると正常に動作しないことがあります。書き込み速度などを確認し、設置前に事前に録画ができることを確認してから設置することをお勧めします。
- 本製品の電源をオフにするときは、必ずSDカード録画を停止してください。録画中に電源をオフにすると、SDカードのデータが破損する可能性があります。録画を停止する方法については46ページ「録画を停止する」を参照してください。

MEMO

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

設置上のご注意

- 設置設定後の環境の変化などにより正常な動作が行われない場合があります。
- 施工時、天井や壁などに傷や破損など起きてても責任は負いません。
- 高所から落下した場合、破損や故障の原因になります。

〈防水対策する場合の注意〉

防水対策をする場合は、以下の点にご注意ください。

- ケーブル先端を露出させないでください。
- 水の中にケーブルコネクタを入れないでください。
- 防水処理を行う前に、ケーブルの先端を保護してください。
- 接続部にはシリカゲルを塗布してください。
- 一度取り外したネジ類は確実に締めてください。

〈電源に関する注意〉

- 本製品に電源スイッチはありません。設置工事の際は、PoE 給電装置の電源をオフにするか、LANケーブルを外してください。

〈本製品の取り付け場所に関する注意〉

- 本製品は建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。また、天井に取り付ける際には、お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、十分に強度がある天井(コンクリート天井など)に取り付けてください。
- 市販のフィクサーや金具などを使用する際は本製品に適した施工をしてください。
- 石こうボードや木部には強度が弱いので取り付けないでください。やむを得ず取り付けられる場合には、十分な補強を施してください。

〈設置場所について〉

- 直射日光の当たるところや、冷房・暖房機の近くには設置しないでください。変形・変色または故障・誤動作の原因となります。また、水滴や水沫のかからない状態(防水対応モデルでは雨天で雨が当たるのは問題ありません、滝のように常時流水がかかる場所を避けてください)で使用してください。
- 照明、火災報知機、誘導灯などの既設設備の妨げにならないように設置してください。
- プライバシーを侵害する映像が映る場所への設置はしないでください。(トイレ、更衣室、道路など)
- 以下のような場所での設置および使用はできません。
直射日光が当たる場所／プールなど、薬剤を使用する場所／ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所／溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所／放射線やX線、および強力な電波や磁気の発生する場所／海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所／使用温度範囲を超える場所／車両、船舶や工場ラ

イン上などの振動の多い場所(本機は車載用ではありません) /ほこりの多い場所(防塵対応モデルにおいてもレンズへの粉塵付着で劣化や傷の原因となります)

〈設置作業前の注意〉

- 当社のネットワークカメラおよびネットワークレコーダーを使用になるネットワーク回線を、他の目的(一般業務など)のネットワーク回線と混在してご利用いただくことは、保証いたしません。
- 設置する際は、市販のアタッチメント金具やベースカバーの使用をお勧めします。
- 設置には、付属の設置用ネジセットまたは、取り付ける場所の材質に合わせたネジ等を使用してください。
- レンズまたはカバーに付いている保護ビニールは施工中に外すと傷など付く恐れがあるので設置後に外してください。

〈取り付けネジの締め付けに関する注意〉

- ネジは取り付け場所の材質や構造物に合わせて、しっかりと締め付けてください。
- インパクトドライバーは使用しないでください。ネジの破損の原因となります。
- ネジはまっすぐ締めてください。締めたあとは、目視にて、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。

〈雷に対する保護に関する注意〉

- LAN ケーブルを使って本機をネットワークに接続する場合は、ネットワークが雷の影響を受けないように配線設置してください。

〈電波障害に関する注意〉

- テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界(モーターやトランス、電力線など)の近くでは、映像がゆがんだり、雑音が入ったりすることがあります。

〈PoE による電源供給に関する注意〉

- エレコム製のSRB シリーズネットワークレコーダー、エレコム製のPoE 対応のハブ、または給電装置を使用してください。

〈時刻設定に関する注意〉

- 時刻の設定については、112ページ「時間」をお読みください。

〈使用しなくなった際の注意〉

- 本製品を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

このマニュアルについて

- このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製／転載することを禁止させていただきます。
- このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- このマニュアルの内容に関しては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、弊社サポート窓口までご連絡ください。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名／社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®およびTMは省略させていただきました。

動作環境

Web ベースの管理画面、次の環境のみサポートしています。

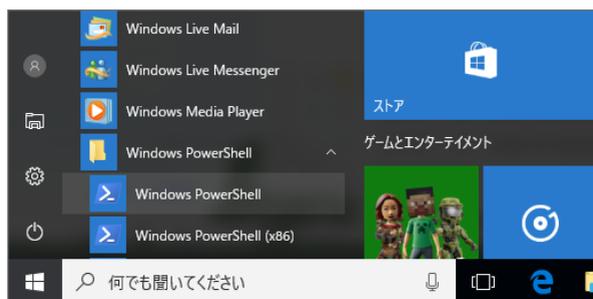
対応 OS	Windows 10
対応ブラウザ	Internet Explorer11

パソコンのIPアドレスの確認方法

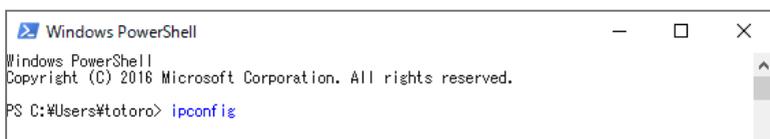
本製品の管理画面にアクセスできない場合に、本製品の管理画面に接続するパソコンのIPアドレスがどのようになっているかを確認する方法を説明します。

Windows 10の場合

1 [スタート]→[Windows Powershell]をクリックします。



2 [Windows Powershell] 画面が表示されますので、「>」のあとにカーソルが点滅している状態で、キーボードから「ipconfig」と入力し、[Enter]キーを押します。



MEMO

- 入力する文字は半角英数字です。
- ["xxx" は、内部コマンド...] と表示された場合は、入力間違いです。もう一度入力してください。

ネットワーク接続情報が表示されます。

```
イーサネット アダプター ローカル エリア接続:
  接続固有の DNS サフィックス . . . . .: Realtek
  リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .: fe80::b96c:a23f:e809:d0a7%18
  IPv4 アドレス . . . . .: 192.168.2.103
  サブネット マスク . . . . .: 255.255.255.0
  デフォルト ゲートウェイ . . . . .: 192.168.2.1
Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続:
  接続固有の DNS サフィックス . . . . .: Realtek
  リンクローカル IPv6 アドレス . . . . .: fe80::102:f940:c919:58b3%17
  IPv4 アドレス . . . . .: 192.168.2.104
  サブネット マスク . . . . .: 255.255.255.0
  デフォルト ゲートウェイ . . . . .: 192.168.2.1
```

有線LAN接続は「イーサネット アダプターローカル エリア接続」、無線LAN接続は「Wireless LAN adapter ワイヤレス ネットワーク接続」の「IPv4アドレス」に現在のIPアドレス「192.168.xxx.xxx」が表示されます(xxxは任意の数字)。

製品の保証について

製品の保証とサービス

本製品には保証とご使用にあたっての注意について記載した文書「安全にお使いいただくために」が付いています。

●保証期間

保証期間はご購入の日より1年間です。保証期間を過ぎた後の修理は有料になります。詳細については製品情報に記載の保証規定をご確認ください。保証期間中のサービスについてのご相談は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

- ・ 弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・ 本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・ 本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシステム、機器およびその他の異常

詳しい保証規定につきましては、「安全にお使いいただくために」に記載の保証規定をご確認ください。

●その他のご質問などに関して

次ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

サポートサービスについて

よくあるお問い合わせ、対応情報、マニュアルなどをインターネットでご案内しております。ご利用が可能であれば、まずご確認ください。

詳細は、サポートポータルサイト「えれさぼ」へ

【ネットワークカメラ・セキュリティカメラ用QRコード】

<http://www.elecom.co.jp/rd/elesup/081.html>



エレコム法人様サポートセンター

サポートナビダイヤル

TEL: **0570-070-040**

【受付時間】 9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 18:00 (月曜日~土曜日)

※日曜日、祝祭日、夏期、年末年始特定休業日を除く

※[050] から始まるIP電話、PHSからはご利用になれません。

テクニカルサポートにお電話される前に

お問い合わせの前に以下の内容をご用意ください。

- ・ 弊社製品の型番
 - ・ ご質問内容(症状、やりたいこと、お困りのこと)
 - ・ 他の機器はすべて外し、カメラとレコーダーをすべて同一セグメント内に接続してください。
- ※ 可能な限り、電話しながら操作可能な状態でご連絡ください。

日本以外でご購入されたお客様は、購入国の販売店舗へお問い合わせください。

エレコム株式会社は、日本以外の国でのご購入・ご使用による問い合わせ・サポート対応は致しかねます。また、日本語以外の言語でのサポートは致しかねます。商品交換は保証規定に沿って対応致しますが、日本以外からの商品交換は対応致しかねます。

This product is designed for use in Japan only.

A customer who purchases outside Japan should contact the local retailer in the country of purchase for enquiries. In "ELECOM CO., LTD. (Japan)", no customer support is available for enquiries about purchases or usage in/from any countries other than Japan. Also, no foreign language other than Japanese is available. Replacements will be made under stipulation of the Elecom warranty, but are not available from outside of Japan.

ELECOM

ネットワークカメラ

SCB-EB2M01 / SCB-EB2M02 / SCB-ED2M01 / SCB-ED2M02 / SCB-EF4K03

ユーザーズマニュアル

発行 エレコム株式会社

第7版 2020/10/15